

県議会レポート
令和6年(2024年)夏号

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄寛美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



■今年度の所属委員会 総務県民生活委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会

県議会6月定例会報告

不適切なヤードを 規制するための条例を 提案・議決

県議会6月定例会は6月17日に開会し、地方税法等の一部改正に伴う条例の改正をはじめとする知事提出議案に加え、私ども自民党議員団が提出した不適切ヤードを規制するための「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」等を議決し、7月5日に閉会しました。

自民党議員団が提案

埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例



写真はイメージであり特定の施設を示すものではありません。

近年、県内各地でヤードと呼ばれる再生資源物を屋外で保管する施設での騒音や異臭、また火災や積み上げられた資源の崩落などが問題になっています。私たち自民党議員団は、昨年秋から不適切なヤードを規制するために調査・検討を重ね、6月定例会において「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」を提案し議決しました。



令和6年度中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会 総会に出席

条例により、ヤードの設置は5年更新の許可制となり、許可申請の前には周辺住民への説明や、資源の保管場所のまわりに囲いを設けることなどが義務づけられます。また、無許可でヤードを設置した場合には1年以下の懲役または100万円以下の罰金、立ち入り検査を拒否した場合には30万円以下の罰金等が科せられます。(施行は令和7年1月1日)

熱中症特別警戒アラートが新設されました

「熱中症特別警戒アラート」が、令和6年度から新設されました。過去に例のない危険な暑さが想定され、健康に重大な被害が生ずるおそれがある場合には環境省が発表します。特別警戒アラート発表時には、市町村長が

指定した「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)」が開放されます。なお、全ての県民による予防行動の実践(自助)と、周囲による予防行動の支援(共助・公助)が重要となります。

熱中症警戒アラート

目的 熱中症の危険性に対する **気づき** を呼びかけ、**予防行動** を促すもの

基準 県内の観測地点*の**日最高暑さ指数**のいずれかが**3.3**(予測値)に達する場合
*観測地点：寄居・熊谷・久喜・秩父・鳩山・さいたま・越谷・所沢(計8地点)
*暑さ指数：気温、湿度、日射量などをもとに算出する熱中症予防の指標

発表 環境省・気象庁(前日の午後5時頃 及び 当日午前5時頃)

お願い **熱中症予防をお願いします**
● 上手にエアコンを ● 水分はこまめに補給を ● こまめに休憩を

めまい、頭痛、吐き気、倦怠感など、「おかしい?」と思ったら病院を受診しましょう
熱中症にかかりやすい子ども・シニア、家族や周囲の方は見守りや声かけをお願いします

令和6年度新設 ▲ 熱中症特別警戒アラート

目的 過去に**例のない危険な暑さ**が想定され、**健康に重大な被害**が生じおそれがある場合に、**命を守る行動**をお願いするもの

基準 県内のすべての観測地点における翌日の**日最高暑さ指数**が**3.5**(予測値)に達する場合

発表 環境省(前日午後2時頃)

お願い **熱中症予防の徹底をお願いします**

涼しい環境で過ごしましょう

- 不要不急の外出はできるだけ控える
- 自宅等でエアコンを使用
- 市町村で指定した「クーリングシェルター」を利用

イベント主催者は熱中症対策をしましょう

- 熱中症対策を徹底できない場合
- イベント主催者等は、イベント等の**中止、延期、変更**の判断を!

※市内町村が指定した「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)」はこちらから

地元と県政との架け橋として **日々全力**

東埼玉道路建設期成同盟会総会に **出席**

東埼玉道路建設促進期成同盟会定期総会が5月16日、八潮メセナ(八潮市)で開催され出席しました。

総会では次の要望書が採択されました。「①一般部(下の道)の吉川市～春日部市までの早期完成、②自動車専用部(高速)の八潮市～松伏町までの早期完成、③自動車専用部の松伏町～春日部市までの早期事業化、④春日部市～圏央道までの計画の具体化」。総会後には、国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所の所長から、進捗状況の報告や広域道路交通のビジョンの説明がありました。

引き続き、東埼玉道路の建設促進のため、予算の確保に頑張ります。



春日部駅立体交差事業期成同盟会総会に **出席**

春日部駅付近連続立体交差事業促進期成同盟会の定期総会が5月23日、ふれあいキューブで開催され出席しました。

令和6年度の連続立体交差事業は「①用地取得(埼玉県)、②伊勢崎線仮下り線・ホームの工事(東武鉄道/※仮上り線・ホームは共用開始しています)、③西口自転車駐輪場の解体撤去工事(東武鉄道)、④用地取得の支援、春日部駅東西連絡道路の測量や予備設計(春日部市)」が進められます。

今年度も事業が円滑・安全に進むよう、関係する皆さまと力を合わせてまいります。



地元県議 3人揃って

豊野工業団地協同組合通常総会に **出席**

春日部市豊野工業団地協同組合の通常総会が5月24日に開催され出席しました。

特高変電所を始めとする共同受配電事業に関する課題について、ご意見を伺うことができました。



ご挨拶をする岩谷一弘市長

総務県民生活委員会

スポーツ科学の最先端の取り組みについて

愛知県豊田市にある中京大学豊田キャンパスのスポーツ科学施設を視察しました。20を超えるスポーツ施設の他に、バイオメカニクス実験室など最先端の設備を整え、多くのオリンピックやアスリートを輩出しています。スポーツ科学の最先端の取り組みは、本県におけるスポーツ振興施策の参考になりました。



視察

日本ALS協会埼玉県支部総会に **出席**

第23回日本ALS協会埼玉県支部総会が6月9日、彩の国すこやかプラザで開催され出席しました。

埼玉県では、日本ALS協会が全国で初の「災害時における在宅ALS患者の安全確保に関する協定」を人工呼吸器メーカーと結び、災害時等における在宅ALS患者の安全確保の体制を整えています。



新築 岐阜県庁舎にて庁舎のあり方を考える

昨年完成したばかりの岐阜県庁舎を視察しました。仕切りのないオープンフロア、最新のビルエネルギー管理システムやセキュリティゲートを備えているほか、県民ホールやギャラリー、展望ロビー等、地域の魅力発信の機能を有していました。本県庁舎も築70年を越え再整備が課題となっており、県庁舎のあり方を多角的・複合的な視点で検討するための良い参考になりました。



展望ロビーにて

全国初！高齢ドライバー講習施設

70歳以上の高齢ドライバーが運転免許を更新するための施設、さいたま市岩槻区に新しくできた「岩槻高齢者講習センター(5月27日供用開始)」を視察しました。都道府県警が高齢者に特化した講習施設を設けるのは全国で初めての取り組みです。

現在、高齢者講習・認知機能検査とともに、待ち日数はそれぞれ平均約30日。今後も70歳以上の免許保有者は増加が見込まれており、将来にわたり安定した受け入れ体制を確保することが目的です。1日最大120人、年間約3万2千人の高齢者講習と、1日最大180人、年間約4万3千人の認知機能検査を受け入れます。また安全運転相談室も設置され、病気や身体の障害などで運転に不安を持つ本人やその家族の相談にも対応します。さらに、「社会参加・健康づくり事業」として、埼玉未来大学のコンテンツを活用し、運動機能の測定や関係講座の放映等を実施したり、加齢で衰える口腔機能の維持・改善について啓発を行うスペースも整備されています。これまでの待ち日数が短くなり、「予約が取れない」という不安がなくなると期待します。



実車講習用のコース、電気自動車が使われます。

社会保険労務士会総会に **出席**

6月6日、埼玉県社会保険労務士会通常総会が開催され出席しました。

社会保険労務士の方々には、企業経営上の「人」に関する専門家として、「人を大切に社会の実現」に向けてご尽力いただいています。たいへん感謝しております。



栄寛美県政事務所

〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL : 048-706-3256



ホームページ



Facebook



X



YouTube

県議会レポート
令和6年(2024年)秋号

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄寛美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 総務県民生活委員会／地方創生・行財政改革特別委員会

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円
【第2号】約37億8千万円 等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県こども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マススクリーニング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面对応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。



県議会9月定例会では一般質問に登壇し、8項目11件について県の施策に対する提言・質問を行いました。(10月3日)

栄ひろみの質問内容は裏面に掲載!

皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案

埼玉県こども・若者基本条例



「県こども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもらに有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の

責務を明記。国や市町村との役割分担を踏まえながら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県こども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➡



通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減……………7,153万3千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ



効果 医療的ケア児の保護者負担の軽減

新生児マススクリーニング検査に関する実証……………1億4,138万5千円

概要(国の実証事業への参加)

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

>対象疾患

- 重症複合免疫不全症(SCID)
出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患
- 脊髄性筋萎縮症(SMA)
筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

>実施機関数 25 ⇒ 86機関 (9月末時点)

検査体制



陽性の場合、精密検査医療機関への受診勧奨 ▶ 早期診断・早期治療へ

9月定例会 一般質問に登壇しました

県議会9月定例会では一般質問に立つ機会をいただき、県の施策に対し8項目11件について提言及び質問を行いました。号はその一部を抜粋しご報告します。どうぞ一読いただき、県政に対するご意見やご感想などをお寄せください。



情報アクセシビリティ対応による情報発信について

Q 栄ひろみ JISの規格に準拠したウェブサイトを作り、ウェブアクセシビリティを確保し、障害の有無に関わらず等しく、情報の取得や活用ができる環境づくりが求められます。調査したところ、特に県公式ホームページ以外にも、**外部ページのウェブアクセシビリティ方針の公開を進めるべき**と考えます。また、**社協、当事者団体、支援団体等を含めた「利用者との協調」**についてもご一考頂きたいと思います。そこで、本県のウェブアクセシビリティに関する課題とその対応について、県民生活部長の見解を伺います。

*アクセシビリティ(Accessibility)は「利用のしやすさ」「便利であること」等と訳されます。高齢者や障害の有無等にかかわらず、全ての人が容易に開かれた情報通信へアクセスできる環境が求められています。

A 県民生活部長 議員ご指摘のとおり、各部署が運用している外部ホームページには、公開されていないものが多数あります。今後は、広報課が外部ホームページについても把握し、方針の策定と公開について積極的に働きかけます。

また「利用者との協調」とは、関係団体を含め広く利用者の意見を収集し、対応していくことであり、更なるウェブアクセシビリティの向上のために重要と認識しています。例えばメールやフォームによる受付を行うことで、発話が困難な人が意見を提示しやすくなるなど、様々な利用者の意見を積極的に収集するよう努めてまいります。

梨農家への支援について

Q 栄ひろみ 埼玉県の梨は、今年の「第3回 全国梨選手権」において最高金賞を受賞し2連覇を果たしました。一方、天候や害虫などご苦労をされながら生産にあたるJA南彩、梨生産者からは、生産の安定と品質向上に必要な「多目的防災網」の設置助成について要望を頂いています。多目的防災網は、果樹棚をポリエチレン製のネットですっぽり覆い、降ひょうや強風、病害虫、鳥害などから果実を守るために設置するもので、屋外で栽培する果樹の安定生産には重要な施設です。梨農家への支援には、果樹経営規模の大小に限らず、多目的防災網をはじめとした継続的な支援が必要と考えますが、農林部長の見解を伺います。

*一般質問の全項目・全文は埼玉県議会のホームページからご覧になれます。▶▶



A 農林部長 本県がおいしい梨を安定的に生産できる産地であり続けることが、今後も重要と考えます。このため県では、多目的防災網設置への支援に加え、高品質な梨生産を目指す共進会の開催や自動草刈り機導入による除草作業の効率化、糖度を測定する選果システムの整備などを支援しているところです。今後も、長きにわたり梨生産を行っている農家や新規就農者など、本県の梨生産を支える多様な経営体が、継続して安定的に梨を生産できるよう、経営の規模に関わらず活用できる支援策を検討してまいります。



9月7日、春日部市役所で開催された「春日部 完熟梨PRイベント&マルシェ」にて、春日部市梨組合の甘熟梨は有機肥料を使った土づくりを行い、通常の梨より樹上で10日ほど成長させ、しっかりと完熟させてから出荷している内牧発のブランドフルーツです。

地域と県政を結ぶ架け橋として

日々活躍中!!

梨生産者の方々が県に要望活動

JA南彩の梨生産者有志の方々が10月8日、埼玉県に対し要望活動を行いました。降ひょうや強風、病害虫を防止し、安定生産・品質向上に必須となる多目的防災網への補助の拡充や継続的な支援を要望しました。



大風文化交流センター完成式典に出席

大風文化交流センター「ハルカイト」完成式典が7月20日に開催され出席しました。ハルカイトは、旧宝珠花小学校の跡地に「地域住民の交流」と「文化・歴史の発信・継承」の2つの機能を有する施設として整備されました(8月1日オープン)。式典終了後には、参加者向け内覧会が行われ、多目的広場では江戸川小中学校児童・生徒による凧あげが行われました。



武里分署・消防団第7分団車庫落成式に出発

「春日部消防署武里分署・春日部消防団第7分団車庫落成式」が8月4日に開催され、岩谷市長、土屋代議士らと並んでテープカットをさせていただきました。老朽化に伴う移転建て替えですが、新施設は女性職員も働きやすい環境になったと感じました。市民の安心安全の拠点として、これからもご尽力下さいますようお願いいたします。



4町会合同 自主防災訓練に出席

粕壁地区(中央二丁目町会、八木崎自治会、宮本町町会、浜川戸町内会)の「4町会合同自主防災訓練」が8月25日に行われ出席しました。いざという時には、自治会や隣近所での支え合いが必要になります。私も行政と皆さまとの繋ぎ役として、取り組みをサポートしていきます。



地元のため一生懸命取り組んでまいります！

鹿和地区

県道沿いの樹木伐採を要望

庄和地区の県道沿いに生い茂っている樹木の伐採を要望。早期の対応が実現しました。

庄和地区では地元選出の吉田みのる議員にお世話になりました。



幸松地区

小淵歩道橋の修繕を要望

傷みが酷く、地域の方からご要望をいただいていた国道4号線の小淵歩道橋について、国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所に要望したところ、8月下旬~来年1月の工期で対応して頂くことになりました。



幸松地区では奥澤ゆうすけ議員にお世話になりました。

●県政に係るご意見・ご要望・ご相談をお寄せください。●

栄寛美県政事務所

〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL : 048-706-3256



ホームページ



Facebook



X



YouTube

県議会レポート
令和7年(2025年)冬号

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄寛美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイソ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 総務県民生活委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会

県議会12月定例会報告

補正予算【第3号】光熱費高騰対策費 **約9億5,707万円等** を議決

県議会12月定例会は12月2日から20日まで開催され、一般会計補正予算【第3号】9億5,707万3千円等を議決しました。補正予算【第3号】は、県有施設等(学校や図書館、信号機や道路照明等)における光熱費高騰に対応するための経費になります。

また、防災拠点校の体育館に空調設備を早期に整備するため、債務負担行為(来年度の支出としてあらかじめ決める)限度額5,539万円が設定されました。これは、能登半島地震の教訓を踏まえて、防災拠点校全36校の空調設備の設置スケジュールを前倒しで進めるための措置です。ほかに公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保のため、債務負担行為限度額258億3,552万6千円(繰越明許費186億3,447万5千円)の設定が議決されました。



令和6年の県東部の稲作は、米に付く「イネカメムシ」が前年の約8倍発生し、深刻な被害をもたらしました。私たち自民党議員団は被害状況を迅速に把握するとともに、埼玉県に対し支援を求める要望書を11月15日に提出しました。詳細は2頁に掲載しています。

防災拠点校への空調設備設置の前倒し <債務負担行為の設定 限度額5,539万円>

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、**防災拠点校* 10校**の体育館の空調設備設計を前倒し、早期に着手する。*備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。

全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能

設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定) ※R7未読原合予定の拠点校1校を除く

区分		R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計	7	7	7	22
	工事		7	7	22
前倒し	設計	7	7+10	12	12
	工事		7	7+10	12

今回提案分

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善

体育館空調設置イメージ



県政のさらなる発展と安心・安全の実現に全力で取り組む埼玉県議会自由民主党議員団(全57名)

地元と県政との架け橋として



カメムシ被害で農家支援を知事に要望

自民党議員団は11月15日、今夏のカメムシによる農業被害について、大野元裕知事に緊急要望を行いました。田村琢実団長が要望書を提出、主旨説明と被害状況については、生産者でもある小島信昭県議(前議員団団長)が行いました。



県東部では、コメに付く「イネカメムシ」が前年の約8倍確認されていることを県も認めています。要望書では、広域の集団防除で、①カメムシを越冬させない対策、②農薬による防除や防虫ネットへの補助、③影響を受けた農家への融資制度創設等を実施するよう求めています。



小島県議が、カメムシ被害で変色し実入りが悪くなった稲穂を示して「来年の経営を危ぶむ農家が続出していると、生産農家の窮状を訴えました。要望書を受け取った大野知事からは「全体の被害状況を把握した上で、市町村の農協と連携し、防除の実施や支援策を検討したい」との言葉を得ることができました。



11月8日、「カメムシ被害」高温障害による大幅な減収の状況を埼玉県・関東農政局の方々把握していただくため、JA南彩本店にて意見交換会が持たれました。埼玉県東部地域の農業者の皆様から切実な実態の説明をしていただくとともに、次期作のための対策・支援の要望など、様々な現場のご意見を伺いました。

総務県民生活委員会視察



コグコ(株)のオフィスは、生産性の向上や人材確保にもつながるアイデアが豊富でした。

県議会総務県民生活委員会は11月21日、コグコ(株)東京品川オフィスと水戸芸術館を視察しました。

コグコ(株)東京品川オフィスは、働き方改革の推進のためABWによる執務環境の改善に取り組んでいます。ABW(Activity Based Working)とは、業務内容やプライベートを含むスケジュールに応じて、働く時間や場所を自ら選択できるワークスタイルです。

水戸芸術館では、文化芸術の振興について視察しました。同館はコンサートホール、劇場、現代美術ギャラリーの3つの専用空間で構成され、音楽・演劇・美術の3部門が、それぞれ自主企画による事業で展開しており、今後の施策の参考になりました。



水戸芸術館は令和6年2月まで故小澤征賢氏が館長を務め、自主企画による事業の展開がたいへん印象的でした。なお、新館長には評論家の片山杜秀氏が11月1日付で就任されています。

東京直結鉄道建設・誘致大会に参加



地元商工会議所・商工会の青年部の皆さまが主体的に誘致活動に取り組んでおられ、素晴らしいと思いました。

高速鉄道東京8号線の押上から野田市までの建設促進と、茨城県西南部(坂東市方面)への延伸誘致の早期実現に向けた、第38回東京直結鉄道建設・誘致促進大会総決起大会が11月24日、茨城県坂東市で開催され出席しました。

埼玉県私学振興大会に出席

令和6年度埼玉県私学振興大会が11月20日、さいたま市文化センター(さいたま市南区)で開催され参加しました。来賓を代表して知事代理の山崎運也副知事、斉藤邦明県議会議員、柴山昌彦元文部科学大臣、小島信昭自民党私学振興懇話会会長からご挨拶がありました。東京都との格差を少しでも是正していくため、県議会でもしっかり取り組んでまいります。



エスカレーター安全キャンペーンに参加

エスカレーター安全利用キャンペーンを12月3日、JR大宮駅で実施しました。JR東日本はじめ埼玉高速鉄道など民間企業の皆さまや埼玉県理学療法士の皆さまとともに、「エスカレーターは左右両側に立ち止まってご利用ください」と呼びかけました。



キャンペーン終了後は、現在、JR大宮駅埼京線で実施中の実証実験について視察しました。AI技術による歩行者検知と音声による注意喚起、歩行者数の自動計測等を行っています。

防犯街頭キャンペーンに参加



県議会防犯のまちづくり推進議員連盟はイオンレイクタウンkazeで11月29日、防犯のまちづくり街頭キャンペーンを行いました。多発している自転車盗難に対し「鍵をしっかりとかけましょう」と自転車のチェーン鍵を配りながら呼びかけました。

ぽぽらフェスティバルに参加

ぽぽらフェスティバル2024が12月7日～8日に開催され伺いました。春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」に登録している市民活動団体が、日ごろの活動をPRする場として毎年開催されています。今年は「広げよう みんなの笑顔 大きな輪」をテーマに、過去最高の56団体が参加し、活動展示やワークショップなど楽しい企画を実施していました。



地域で活動する皆さまと意見交換ができ、様々な事を教えていただきました。

栄寛美県政事務所

〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL : 048-706-3256



ホームページ



Facebook



X



YouTube

県議会レポート
令和7年(2025年)春号

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄富美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 総務県民生活委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会 / 予算特別委員会

県議会2月定例会報告

前年度比5.2%増の超大型予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算 過去最大規模

一般会計 2兆2,308億9,000万円

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、「未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦」「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現」「DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進」を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等:約394億5,146万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等:約4億900万円)、介護・医療体制の充実(人材確保等:約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。

また、1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助金が45億円)の計上も議決しました。

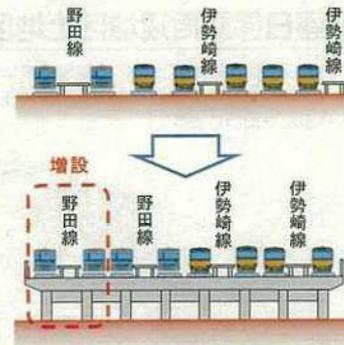


知事執行部との賀詞交歓会にて
大野知事と(1月7日)

鉄道高架で踏切ゼロへ!

令和7年度(連続立体交差事業費) 27億8,358万7千円

東武鉄道伊勢崎線・野田線の春日部駅付近を高架化することにより、10箇所の踏切を除却。さらに、春日部市による駅周辺のまちづくりや、鉄道事業者による鉄道機能の増強等を併せて行うことで、事業効果を最大限に発揮します。



令和7年度 地元・春日部市の主な県事業

令和7年度、春日部市内において予算を確保することができました主な県事業(インフラ整備等)をご報告します。地域の声・願いを県政に活かすため、日々全力で取り組んでまいります。

県土整備部 令和7年度当初予算

路線名等	事業内容
① 野田岩槻線	道路改築(L=430m、W=6.0(18.0)m)
② 野田岩槻線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=430m、W=6.0(18.0)m)
③ 西金野井春日部線	橋りょう架換(L=1,050m、W=6.0(12.0)m)
④ 西金野井春日部線	社会資本整備総合交付金(橋りょう整備)事業(L=1,050m、W=6.0(12.0)m)
⑤ 大場大枝線	街路整備(L=1,046m、W=6.0(16.0)m)
⑥ 大場大枝線	街路改良事業(L=1,046m、W=6.0(16.0)m)
⑦ 惣新田春日部線	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=500m)
⑧ さいたま春日部線	バリアフリー安全対策(障害者誘導用ブロック新設)
⑨ 松伏春日部間宿線	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=200m)
⑩ 宝珠花橋側道橋(次木杉戸線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
⑪ 古隅田川	河川改修事業(橋梁架換工)
⑫ 会之堀川	河川改修(測量設計、護岸工、物件補償)

令和6年度2月補正予算《国の補正対応分》

路線名等	事業内容
補① 野田岩槻線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=430m、W=6.0(18.0)m)
補② 古隅田川(城殿宮橋下流)	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工)

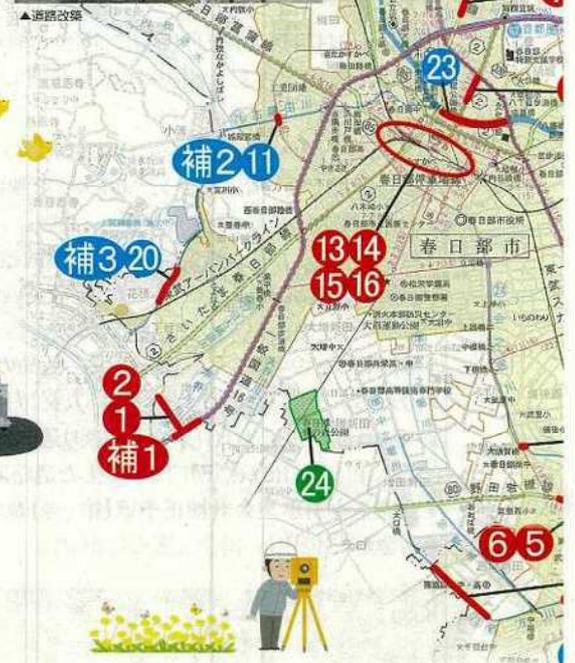
鉄道高架建設事務所(県土整備部) 令和7年度当初予算

路線名等	事業内容
⑬ 袋陣屋線	街路改良事業(L=510m、W=10.0(18.0)m)
⑭ 袋陣屋線	街路整備(L=510m、W=10.0(18.0)m)
⑮ 東武鉄道伊勢崎線・野田線	連続立体交差(L=3,500m)
⑯ 東武鉄道伊勢崎線・野田線	連続立体交差(L=3,500m)

総合治水事務所(県土整備部) 令和7年度当初予算

路線名等	事業内容
⑰ 新方川	河川改修事業(橋梁架換工)
⑱ 新方川	河川改修(測量設計、物件調査、借地、橋門整備工)
⑲ 中川	河川改修(河道整備工、用地買収、物件補償)
⑳ 古隅田川	河川改修(測量設計)
㉑ 中川	河川改修(用地買収、物件補償)
㉒ 大落古利根川	河川改修費(水辺)(河川管理施設修繕)
㉓ 大落古利根川	川の再生推進(船着場整備)

12補 野田岩槻線



予算特別委員会として質問・提言

埼玉県議会の2月定例会は、重要な予算審議の時期です。今回、予算特別委員会の委員として、新年度予算の審査に携わりました。初めての部局別質疑では、しっかりと自分の意見を述べ、予算の適切な用途について深く議論する貴重な経験を積みました。

また、予算特別委員会の理事にも選任され、県議会でもさまざまな業務を担当する機会をいただきました。これからも引き続き、埼玉県の発展に貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。



大野知事はじめ県執行部に対し、一問一答形式で質問・提言を行いました。

北春日部駅周辺地区土地区画整理「起工式」に出席

北春日部駅周辺地区土地区画整理事業造成工事の「起工式」が2月8日に執り行われ出席しました。春日部市の発展、埼玉県東部地域の発展のため、これからも取り組んでまいります。



▲北春日部の駅前に1,000戸(約3,000人)の住宅、商業施設ができる予定となっています。



東京8号線早期建設並びに延伸誘致

「地下鉄8号線建設促進期成同盟会(会長:鈴木有野田市長)」の皆さまが2月10、要望のため知事公館にお越しになり、「地下鉄8号線建設促進埼玉県議会議員連盟」のメンバーとして伺いました。地下鉄8号線は、東京メトロ有楽町線の延伸で埼玉県や千葉県などをつなぐ路線です。早期実現に向け、微力ながら全力で取り組んでまいります。

エスカレーターの安全利用キャン

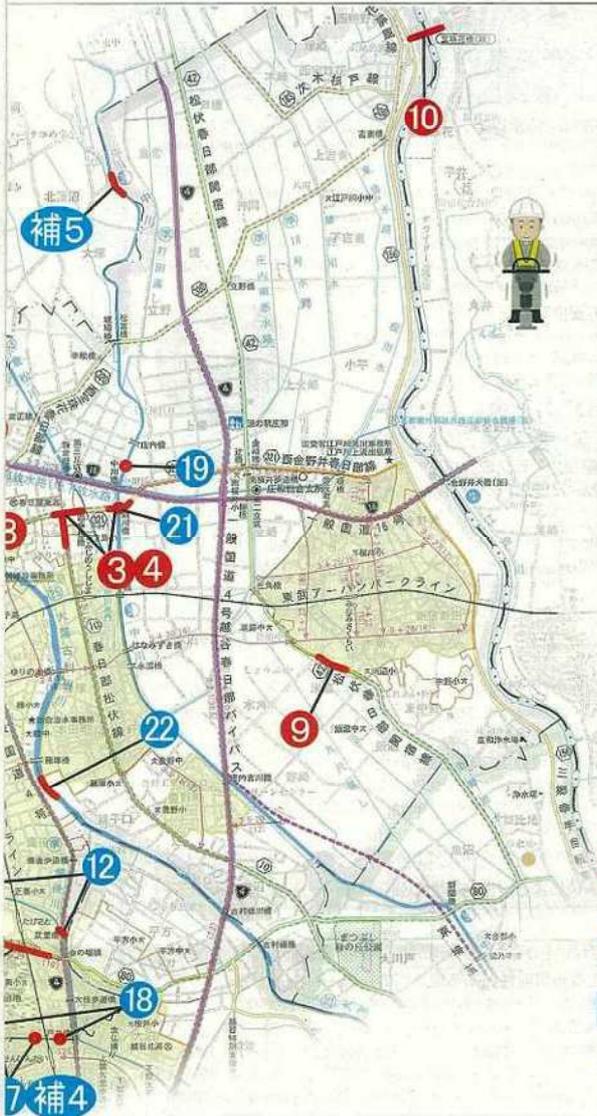
エスカレーターの安全利用に向けた共同キャンペーンを2月1



エスカレーターの日(3月8日)を前に、エスカレーターは両側に立ち止まって利用するよう呼び掛けました。多くの皆さまにご協力いただいたのキャンペーンです。ありがとうございました。

イオンモール春日部で米粉フェア開催

「春日部産米を活用した食の新たな地域ブランド創出」の実証実験として、春日部市では米粉を使った麺・パン・菓子などの試作を行っています。1月26日にはイオンモール春日部にて「米粉フェア」が開催され参加しました。地元の事業者の方々、埼玉県立庄和高校、杉戸農業高校の高校生の皆さまにもご協力いただき、ありがとうございました。



3・4 西金野井春日部線



▲橋りょう架け換え

7 惣新田春日部線



▲舗装修繕

5・6 大場大枝線



▲街路整備及び街路改良

8 松伏春日部関宿線



▲舗装修繕

8 さいたま春日部線



▲障害者誘導用ブロック新設

11 補2 古隅田川



▲橋りょう架け換え

総合治水事務所(県土整備部) 令和6年度2月補正予算 《国の補正対応分》

路線名等	事業内容
補3 古隅田川(城野宮橋上流)	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工、借地、物件補償)
補4 新方川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工、借地)
補5 中川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工)

都市整備部

路線名等	事業内容
補4 春日部夢の森公園	公園等施設整備(南国遊具設置)

知事要望



パネ参加

日、JR大宮駅で実施しました。



地域と行政の架け橋として働いてまいります

地域の皆様からいただいていた要望について、行政で対応いただいた箇所(現地)を1月中旬に確認して回りました。

これからも地元の安全・安心実現のため取り組んでまいります！



▲首都圏外郭放水路第3立坑から国道16号を挟んですぐ南、倉松川の堤防が削れており、対策を総合治水事務所へ要望しました。とりあえず応急処置が施され、秋口には本工事(200m)が行われることになりました。



▲国道4号「小淵歩道橋」の踏み板や塗装などがかなり傷んでおり、国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所に修繕を要望したところ、補修工事が行われていました(1月末完了予定)。併せて、近隣住民の方からご要望いただいていた、ボイ捨て防止フェンスも設置されます。



▲春日部駅東口からまっすぐ国道16号につながる、県道2号線の街路樹のかえりの剪定、松の木の剪定、歩道のインターロッキング12箇所の補修を県に要望し、実施していただきました。

令和7年度 埼玉県の主な施策(抜粋)

～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……3億9,537万2千円

埼玉発! 令和7年度、さいたま新都心に開設(予定)

施設: コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペース など

① 共創プログラムの実施(企業同士のマッチングによる協業の伴走支援、支援金の支給) ② アクセラレーションプログラム(アリー期)の実施(事業成長に向けた伴走支援、支援金の支給、デモデイ(成果報告会)の開催)、他



■サーキュラーエコノミー(CE)の推進……7億2,378万8千円

① リチウムイオン電池の広域回収・資源化モデルの構築、② 県民向けサーキュラーエコノミーの啓発、③ サーキュラーエコノミー型製品等の価値発信支援、④ 広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進、⑤ 大企業ニーズ調査によるサーキュラーエコノミー推進センター埼玉のマッチング強化、他



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進……15億8,470万円

プロジェクトに取り組む市町村 合計56団体!

① 市町村への専門派遣等による地域まちづくり計画の策定支援、② エネルギージェリエンシ強化促進支援事業、③ 県有施設への太陽光発電設備等の導入促進、他



■人手不足への対応……7億6,916万2千円

① 専門家派遣の実施、② 省力化投資に対する補助(導入: 上限額200万円、補助率1/2、更新: 上限額750万円、補助率1/2)、③ 女性活躍のための環境整備、④ 集合住宅宅配ボックス設置補助、他



2. 「子どもまんなか社会」の実現

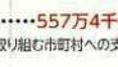
■子どもの声を聴く「埼玉県子ども会議」

① 小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県子ども会議」を設置・運営、② 子どもたちからの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況を県ホームページで公表



■朝のこどもの居場所づくり……557万4千円

① 朝の小いの壁を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援



■保育士の確保・定着……1億6,509万6千円

① 新卒保育士に対する就職準備金(新卒保育士就職準備金に30万円(県内保育所等で3年勤務することにより返還免除)の新たな貸付枠を創設するとともに、県外からの転居を伴う就職者に対しては10万円の加算枠を創設)、② 保育士の復帰・復職のサポート(未就学児を持つ保育士が育休等から復帰する又は新たに就職する場合に、当該保育士が支払う保育料の半額(上限27,000円)の貸付期間を無償化の対象となる3歳児まで延長)、他



■メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援……4,272万6千円

① 新たな居場所・学びの場を設置(一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる専門的な相談、利用者同士の日常の交流やオンライン社会科見学等の体験活動)

■特別支援学校の整備……14億4,969万9千円

① 県東部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和12年度開校予定)、② 県西部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和11年度開校予定)、③ 既存特別支援学校の校舎等改築(県立和光商特別支援学校の全面改築)(令和12年度校舎供用開始予定)

■県営公園の安全安心向上

① 防犯カメラの充実(5公園全30か所で詳細設計、6公園全40か所で設置工事を実施)



3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■DXによる県民サービスの更なる向上……1,500万円

① AIしごと診断・マッチングシステムによる若者の就業支援



■県内中小企業のDX推進……8,522万9千円

① ノーコードツール活用によるDX促進(事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施)

■DX・TXによる行政の更なる生産性向上……1億2,727万6千円

① TX2.0タスクトランスフォーメーションの強化(TX1.0で導入した全庁共通ツールだけではカバーできない特定のタスクを効率化する新たなツールをモデル的に導入)、② 県立高校でのデジタル採点の導入、他

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……7,964万3千円

① 通信途絶状況下での対応(令和6年能登半島地震での教訓を踏まえた向上訓練の実施)、② 支援物資の物流オペレーション、③ LINEを活用した多言語防災情報の提供、④ 災害時のリハビリテーション機能の強化、⑤ 新興感染症の訓練想定を拡充、他

■孤立集落となる可能性がある地域への対応……3億6,400万円

① 迂回路の無い県道の法面対策強化(アクセスルート強化推進費)

■自然災害への備え……394億5,146万4千円

① 衛星通信機器の導入(27基導入)、② 流域治水対策の推進(中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト、既存施設の有効活用法の検討等)、③ 緊急性の高い防災・減災対策の強化、④ 総合指揮支援システムの機能強化、⑤ 通信・映像資機材の整備、他

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化……4億899万6千円

① 警察官の増員(全国最多175人増員)、② データウェブ上における情報収集力の強化、他



■消費者被害対策の推進……3,174万5千円

① 消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、② 市町村相談体制支援員の設置、県内消費生活相談体制の維持、他

■民生委員の担い手確保対策支援……3,741万円

① 民生委員をサポートする協力員制度の導入、② オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化、他

2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保……7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正

① 長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、② 地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(寄附講座運営支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

① 採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、② 事業者が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、③ 埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化……1億7,567万8千円

① 75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、② 夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患

者の受入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■観光プロモーション・インバウンド誘致の推進……2億781万9千円

① 酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進、② 特定層にターゲットを絞ったプロモーション、他

■未来の県庁・新しい働き方の実現……1億2,134万1千円

○「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点の基本計画の策定、② DX等の社会変革を踏まえた未来の県庁舎の再整備に向けた基本構想・基本計画の策定(令和7～8年度)、他

4. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催……10億1,615万3千円

① 当日の式典運営・式典会場の現状復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



5. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保……3,572万1千円

① 新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への参入を支援、他

■水稻のカメムシ類・高温被害への対策……3,086万4千円

① イネカメムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除委託体制を充実等)、② 高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他



県政たより

2024.2 Vol.3

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力

しぶやまみこ



所属委員会 総務県民生活委員会／経済・雇用対策特別委員会

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

一般質問報告

12月定例会
12月13日

県の施策に対し 質問 提言

県議会12月定例会では県議会議員として初めての一般質問を行いました。本号ではその中から「誰もが暮らしやすい社会へ」「教育現場における子供の健全な育成に向けた取り組みについて」の2項目を抜粋し掲載いたします。県政に対するご意見やご要望、ご感想などをお寄せください。



県議会議員として初めての一般質問を行いました(12月13日)。

誰もが暮らしやすい社会へ

(1) 訪問看護教育ステーションの増設を

Q **しぶやまみこ** 訪問看護ステーションは、在宅医療を支える事業所として重要ですが、慢性的な看護師不足に悩まされています。また、県内のステーションは小規模な事業所が多く、職員同士のノウハウの蓄積なども課題となっていると聞きます。訪問看護ステーションに従事する訪問看護師の確保・育成・定着を図るため、県はどのような支援を行っているのか伺います。また、県が位置付けている「訪問看護教育ステーション」への支援について、具体的な支援内容を説明願います。さらに、将来に向けて県内の訪問看護のさらなる充実強化を図るためには、訪問看護教育ステーションの増設が必要ですか。保健医療部長の見解を伺います。

A **保健医療部長** 県では訪問看護師に興味を持つ看護師等を対象に体験実習を行い、訪問看護師の確保に努めています。また令和2年度に改定した訪問看護師育成プログラムを訪問看護ステーションへ周知するとともに、このプログラムを活用した研修を行っています。このほか、末期がん等医療依存度の高い患者を多く扱うステーションでは、新人看護師に対するOJTを行う費用等に対し補助を行い、訪問看護師の育成を支援しています。さらに相談窓口を設置し、訪問看護師の定着支援を行っています。

また、県では訪問看護教育ステーションが行う研修等に係る経費を補助しているほか、管理者が集う交流会等に参加して、必要な情報の提供等を行い支援をしています。

訪問看護教育ステーションの増設については、令和7年度までに県内の10の全二次保健医療圏に1か所ずつ、教育ステーションの指定を目指しています。令和4年度までに3圏域で指定をしました。候補の事業所からは「指定初年度から教育ステーションとしての役割を果たすことに不安がある」との声もいただき、令和5年度からは、教育ステーションとなる前年度を訪問看護「協力ステーション」と位置付け、必要なノウハウの蓄積等を行い、体制整備に努めていただくこととしました。令和5年度は協力ステーションとして3か所を指定し、翌年には「教育ステーション」へ移行していただく見込みです。



(2) 女性のQOL向上のための健康づくりの推進について

Q **しぶやまみこ** 女性の活躍を支えるためには、女性特有の悩みに対するケアの拡充が重要であり、日常的なレディーススクリーニングの受診が有効です。国は、国立成育医療センターに女性の健康に関するナショナルセンター機能を持たせ、女性の健康や疾患に特化した研究や相談支援等を進めるとしています。本県としても、女性のクオリティ・オブ・ライフ向上のために健康づくりを推進すべきと考えますが、現在の県の取り組み、今後の対応について、保健医療部長の見解を伺います。

A **保健医療部長** 県では各保健所で、妊娠、不妊、メンタルヘルスケア、更年期等女性特有の健康問題に関する電話相談等を実施しています。また助産師を講師とする出前講座を、中高生や大学生向けに各地域で開催しています。議員ご提案のレディーススクリーニングの受診については、こうした出前講座の機会を通じて受診してもらおうと考えているところです。さらに、令和5年4月に、不妊・不育症相談のほか、思春期の健康や将来の妊娠を踏まえた日々の健康相談まで幅広く応じる「プレコンセプションケア相談センター埼玉 ぶれたま」を開設しました。今後も関係部局との連携も深めながら、しっかり取り組んでまいります。

(3) 高齢者に対する歯科保健対策の推進について

Q **しぶやまみこ** 歯や口腔の健康と全身の健康は大きく関連しており、後期高齢者が急増する見込みでもある埼玉県においては、**医科と歯科の連携がますます重要**になります。県として、今後さらに高齢者の歯科保健対策の推進に取り組んでいくべきだと考えており、保健医療部長の見解を伺います。

A **保健医療部長** 県では、県内に在宅歯科医療推進拠点・支援窓口を30か所設置し、訪問歯科診療を行う歯科医院の紹介等の支援を行っています。この拠点では、訪問歯科診療のための診療機器の貸し出しを行うほか、地域の病院と連携し入院患者の歯・口腔のサポートも行っています。また市町村の保健・福祉関係者に対するオーラルフレイル予防等の研修を実施しています。さらに、令和6年5月にさいたま市岩槻区に県警本部が開設する高齢者講習施設において高齢者歯科保健事業を実施し、待ち時間等を活用して口腔機能向上に関する周知啓発を行う予定です。今後も高齢者の歯科保健対策の推進にしっかりと取り組んでまいります。



(4) 障害者施設利用者の高齢化問題について

Q **しぶやまみこ** 埼玉県は異次元の高齢化に直面しており、障害者自身の高齢化も進んでいます。障害者施設の入所者の高齢化は今後ますます進んでいくものと考えられますが、県は障害者の高齢化に対してどのように取り組んでいくのか見解を伺います。

A **福祉部長** 入所者の高齢化に伴い、入所者一人ひとりの状態に応じて、食事や入浴等の介助やリハビリ、日中の活動等の支援を適切に行っていくことが必要です。県では毎年、入所者の日常生活能力や心理状態等を踏まえて、施設が作成する支援計画に基づいて、日常生活上の支援が適切に実施されているか書面で確認するとともに、3年に一度の実地検査により助言や指導を行っています。また介護ロボットやタブレット端末等のICT導入の費用を補助し、その活用を進めています。さらに、施設を運営する団体と連携し、高齢者に配慮した健康管理や医療的なケアを取り入れている先進事例などを収集して、情報提供を行ってまいります。

(5) 障害者と共に大切な時を過ごすご家族の心を元気に、交流サロンの設置について

Q **しぶやまみこ** 私は、障害者福祉の推進の中で目指すべきことは、**障害者の方が地域社会の中で当たり前のように生活できること**だと考えます。しかし一番近くで障害者を支えなければならない家族の負担は大きく、特に医療的ケアが必要な重度障害者の家族の場合、一時も目が離せないことから、冠婚葬祭等の行事にも参加することが難しい等の声を聞きます。また普段の生活の中でも、ご家族の、例えばご兄弟の心身に影響が出てくることもある等、決してきれいごとで済ませることができないのが現状です。こうした障害者の家族をとりまく課題について、県としてはどのように支援していくのか伺います。

A **福祉部長** 一時的に家族の在宅介護が困難となる場合には、障害者施設への短期入所サービスや日中一時預かりサービスを利用することができます。県では、特に医療的ケアが必要な重症心身障害児者については、受け入れる事業所が不足していることから、受入れ事業所に対して補助を行っています。今後とも、短期入所や日中一時預かりサービスの利用拡大に努めてまいります。

教育現場における子供の健全な育成に向けた取り組みについて

(1) 起立性調節障害等への理解促進と児童生徒への対応について

Q **しづやまみこ** 起立性調節障害など、見た目だけでは判断が難しい疾患や特性について、教職員や周りの児童生徒が正しく理解することが私は重要と考えています。その上で、児童生徒に対しきめ細かい支援をしていくことも必要と考えますが、県の取り組みについて伺います。

A **教育長** 起立性調節障害等の児童生徒は、倦怠感といった症状から、「怠け」等と誤解されることもあり、教職員や周囲の児童生徒が正しく理解をすることは重要と認識しています。各学校では養護教諭を中心に教職員研修を行っているほか、保健の授業等において、本人の心情に配慮しつつ、周囲の児童生徒が理解を深めるよう指導しています。今後は養護教諭以外の教職員が理解を深めるため、保健主事研修会や市町村担当者の会議等を通じて啓発してまいります。また不登校の対応に関する教職員研修資料等においても、起立性調節障害等への配慮について取り上げてまいります。

次に配慮の必要な児童生徒へのきめ細かい支援について、学校では疾患や特性により、学校生活に困難さを感じている児童生徒には、主治医の指示に基づき規則正しい生活等個別の保健指導を行うとともに、体調によっては保健室で休養させる等、必要な配慮を行っています。県では、引き続き児童生徒の健康状態を的確に把握した上で、きめ細かい配慮を行うよう、市町村や学校に働き掛けてまいります。



活動

県国土利用計画審議会に出席

第76回埼玉県国土利用計画審議会が1月23日、知事公館にて行われ委員として出席しました。埼玉県土地利用基本計画の変更等について審議を行いました。



川越市二十歳のつどいに出席

第75回川越市二十歳のつどいが1月7日、ウエスタ川越で開催され出席しました。皆様にとって、これから経験することは必ず意味があり、自身の糧となります。皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。



川越矯正展が開催

令和5年度川越矯正展が11月18日、川越少年刑務所にて開催されお伺いしました。受刑者が刑務施設で製作された作業製品の展示・即売のほか、パネル展示による矯正広報など、丁寧にご説明いただきました。



川越商工会議所賀詞交換会に出席

川越商工会議所新年賀詞交換会が1月11日、川越プリンスホテルで開催されました。地域の発展に向け、経済政策のさらなる充実に向かって取り組んでまいります。

山村学園創立100周年記念祭に出席

山村学園創立100周年記念祭が11月14日、ペルーナドーム(所沢市)で開催され出席しました。私も一卒業生として、母校の温かなマインドを社会で少しでも発揮できるよう、日本一暮らしやすい埼玉の実現に向け、忠恕の精神を忘れず日々尽力することを心に誓いました。



(2) 親による教育と学校教育について

Q **しづやまみこ** 子供の健全育成のためには、学校や地域における学びも重要ですが、やはり家庭における教育が果たす役割は重要です。少子化・核家族化、地域との関係の希薄化や現代的な課題が多様化する中で、家庭の教育力の向上を図るためには、親が子供を教育するため、親にも時代に応じた知識やスキル等の力をつけるための機会が必要だと思われませんが、県ではどのように対応するのか伺います。

A **教育長** 県では「親の学習」に取り組んでおり、県家庭教育アドバイザーを養成し、小学校や公民館の講座等に派遣しています。また、家庭教育アドバイザーを対象に研修を実施し、令和5年度は専門家を招いて、ネット社会の現実等について講義をしていただきました。今後もこうした取り組みを推進し、時代の変化に伴う新たな課題等について、保護者に知識や学ぶ機会を提供することで、家庭教育への支援を進めてまいります。

一般質問全項目 (12月定例会/12月13日)

- 多文化共生社会の実現に向けて
 - 多文化共生社会の実現に向け、どのように取り組んでいくのか(知事)
 - 外国人犯罪への対応について(警察本部長)
 - 在留外国人児童生徒に関するいじめ問題について(教育長)
- 多様な人材の活躍推進について(産業労働部長)
 - 誰もが暮らしやすい社会へ
 - 訪問看護教育ステーションの増設を(保健医療部長)
 - 女性のQOL向上のための健康づくりの推進について(保健医療部長)
 - 高齢者に対する歯科保健対策の推進について(保健医療部長)
 - 障害者施設利用者の高齢化問題について(福祉部長)
 - 障害者と共に大切な時を過ごすご家族の心を元気に、交流サロンの設置について(福祉部長)
- 教育現場における子供の健全な育成に向けた取組について(教育長)
 - 起立性調節障害等への理解促進と児童生徒への対応について
 - 親による教育と学校教育について
- 建設業界における諸問題について
 - 県における建設工事の働き方改革に関する県の取組について(県土整備部長)
 - 建設現場の生産性向上に向けた革新的技術の導入・活用の推進について(県土整備部長)
 - 公共工事の物価高騰への対応について(総務部長)



▲一般質問を動画でご覧になることもできます。



▲一般質問の詳細(全文)は県議会のHPをご覧ください。

経済雇用特別委員会視察

創業支援、起業家の育成 ビジネスの支援について

東京都が運営する、企業や大学、行政などの組織とスタートアップを結びつけるオープンイノベーションプラットフォームである「Tokyo innovation Base(千代田区)」と、スタートアップ(新しく



設立されたばかりの企業)をはじめ、多様な企業が集まるオープンイノベーション施設「Plug and Play Shibuya(渋谷区)」を視察しました。

スピード感を持った東京都の官民連携の取り組みは、たいへん参考になりました。埼玉県でも誰もが強い心持で起業できるよう、県内の経済好循環も含めしっかり推進してまいります。

総務県民生活委員会視察

働き方を発信するワークプレイス「ITOKI TOKYO XORK」

株式会社イトーキの本社オフィス「ITOKI TOKYO XORK」を視察しました。「XORK(ゾーク)」とは、働き方を次の次元へと進化させるという意味だそうです。「人と活動を基軸にした新たなオフィスづくり」をコンセプトに、個々のワーカーの活動に対応して高集中ブース、情報共有スペースなど様々なブースがあり、生産性と創造性を引き上げるオフィス空間の大切さを再認識いたしました。



埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

しづやまみこ 政務活動事務所

〒350-0001 川越市古谷上5928-3
TEL:049-235-7100 FAX:049-277-8473
mail:info@shibuya mamiko.jp



X(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムで情報発信中!!

県政たより

2024.11 Vol.4

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力

しぶやまみこ



40-15

所属委員会 警察危機管理防災委員会 / 少子・高齢福祉社会対策特別委員会 / 図書室委員会 発行：埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円

【第2号】約37億8千万円等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県こども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マスキング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面对応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。



県議会9月定例会では一般質問に登壇し、9項目12件について県の施策に対する提言・質問を行いました。(10月4日)

皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案

埼玉県こども・若者基本条例について



「県こども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもが有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の責務を明記。国や市町村との役割分担を踏まえなが

ら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県こども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➔



一般質問に登壇 県の施策に対し提言・質問

県議会9月定例会では一般質問に立つ機会をいただき、県の施策に対し9項目12件について提言及び質問を行いました。今号ではその概要をご報告します。どうぞご一読いただき、県政に対するご意見やご感想などをお寄せください。



※一般質問の全文は埼玉県議会のホームページからご覧いただけます。➔

将来の科学技術を担う人材の育成に向けて

(1) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の挑戦と継続に向けた支援について

Q **しぶやまみこ** 「令和4年版科学技術・イノベーション白書」によると、我が国の研究力の低下が懸念されます。ノーベル物理学賞を受賞された川越高校出身の梶田隆章氏、Suicaの開発を指揮し令和5年度「文部科学大臣表彰・科学技術賞」を受賞された椎橋章夫氏、ワークマンの発明開発に携った高藤静雄氏は川越工業高校出身です。そこで、本県が科学技術分野において、日本をリードする県となる取り組みをより一層推し進めるべきと考えており、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の挑戦と継続に向けた支援について伺います。県内の県立高校SSH指定校は、浦和第一女子高校、川越女子高校、松山高校、春日部高校を含め7校あります。令和6年8月に行われた「全国SSH生徒研究発表会」では、浦和第一女子高校が文部科学大臣表彰を受賞するなど、各校は大変注目されています。これまでの県立高校のSSHの取り組みの成果と、今後の更なる充実について伺います。

A **大野知事** SSH指定校では日本生物学オリンピック等に挑戦する生徒が増加するとともに、卒業後に研究者や医師になる者を輩出するなどの成果をあげています。県では、大学から外部専門家を招いて指導助言を行う会議を学校ごとに開催しているほか、研究テーマに即した学会や研究機関を各学校で紹介するなど支援しています。今後は、指定校と海外の高校が共同で行う研究テーマや実験方法を提案するほか、生徒が最先端の研究に触れる機会を増やすなど、研究を発展させられるよう取り組みます。

※スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは、先進的な理数系教育や文理融合領域に関する研究開発を実施する高等学校を文部科学省が指定し、育成支援をしていく取り組みです。

(2) 理数系人材育成に向けた県立高校の更なる取り組みについて

Q **しぶやまみこ** 科学技術に関する学びは全ての高校生にとって必要であり、文系理系にとらわれず優れた人材の育成強化を図ることが重要です。そのため、多くの高校生が理数系分野に着目するよう、働きかけや支援をしていくことも非常に大切です。自ら理数系の学びに歩みを進める高校生への支援について伺います。

A **教育長** 県では令和3年度に「埼玉県理数教育」のホームページを立ち上げ、大学や研究機関における高校生向けのプログラムやイベント等を掲載し、令和5年度には6万件程度のアクセスがありました。また、令和5年度から実施している「学際的な学び推進事業」では、生徒が自ら問いを立て考えを深めながら、科学的な手法を活用して課題解決を目指す探究活動を推進しています。令和5年12月には「第1回探究活動生徒発表会」を開催し、県内24校の生徒が計127件の発表を行いました。今後は、さらに専門性を高めていけるよう大学等との連携を深め積極的に支援していきます。

再質問

Q **しぶやまみこ** 「学際的な学び推進事業」をより充実させ、県立高校の理数系人材の育成に繋げていくことを期待します。県立高校の理数系人材の育成について、教育長の決意を伺います。

A **教育長** 私は教育長として、全力で、この理数系人材の育成に取り組んでいく決意です。

激甚化する災害の備えについて

(1) 屋内用インスタントハウスの導入について

Q **しづやまみこ** 令和6年元日に発生した石川県能登半島地震に続き、9月には観測史上最大の大雨が襲い、再び甚大な被害をもたらしました。私自身、今年2月に羽咋郡志賀町、避難所である輪島市立輪島中学校を視察し、屋内用インスタントハウス設置のお手伝いをしました。その中で、プライバシーの確保、またパーソナルスペースの確保が感染症予防に繋がることから、屋内用インスタントハウスが非常に大きな効果を感じました。私は、激甚化・頻発化する災害に対応するため、県内の避難所に屋内用インスタントハウス[※]を導入すれば、避難所環境が劇的に改善されると考えております。本県のインスタントハウスの導入について伺います。

A **教育長** 大規模災害発生時には、多くの避難所が開設されるため、プライバシー確保を行う物資について、様々な形で確保が必要と考えています。県としては避難所環境を整備する一方策として、引き続き、北川教授側と課題の整理を行いながら、活用について意見交換を行ってまいります。



写真パネルで室内用インスタントハウスの有効性を示し、県内避難所への導入を提案しました。

※屋内用インスタントハウスとは、名古屋工業大学の北川勉教授が開発されたもので高さ2.5m、高さは約3m、各プライバシーの確保だけでなく、防音性、断熱性などに優れ、安価で、お年寄りや子ども・女性でも組み立てられるよう工夫されています。

(2) 地域防災力向上のための防災士の活用について

Q **しづやまみこ** 防災士は全国で約30万人、本県では約1万人の方が資格を取得し、防災に関する知識・技能を生かして、地域防災力の向上に貢献しています。そこで、地域防災力の向上を図るため、本県として防災士をもっと活用するべきと考えます所見を伺います。

A **危機管理防災部長** 県では、防災士に地域リーダーを養成する研修の講師を依頼し、地域の核となる人材を育成しています。また、防災士に県庁オープンデーや若者向け防災講座の講師を依頼し、実践的な災害時の行動を紹介するなど内容の充実を図っています。さらに、市町村が行う防災士の資格取得への助成や、研修などに県が財政支援を行っています。今後も地域の防災力向上のため、防災士の活用を検討していきます。

家庭用蓄電池の普及促進について

Q **しづやまみこ** 家庭部門のカーボンニュートラルを進めていくためには、節電や省エネ家電、太陽光発電設備の導入と、さらには蓄電池の導入も重要です。蓄電池は災害時、各家庭で一定の電力を確保することが可能となり、自主防災にも繋がります。災害に備えるというメリットを県民に周知し、家庭用蓄電池の導入促進を図るべきと考えます所見を伺います。

A **環境部長** 県では、太陽光発電の設置を前提に家庭用蓄電池に対する補助を行っており、令和5年度の補助実績は2,009件でした。令和6年度からは、EV・PHVへの補助について、V2Hを有している場合には補助額を高く設定しました。今後も家庭用蓄電池のメリットをしっかりと周知し、カーボンニュートラルの実現とレジリエンスの向上に向け、家庭用蓄電池の導入を促進していきます。

郷土の歴史や文化財の継承について

Q **しづやまみこ** 寺社の建物、祭礼や行事等の文化財の中には、国や県、市町村に指定され保護が図られているものがある一方で、指定されないものも数多くあります。しかし、どれも地域の歴史を物語る価値ある文化財です。郷土の歴史や文化財に対する住民の関心を高め、地域主体で継承に向けた取り組みが進むよう、県はどうか支援していくのが教育長に伺います。

A **教育長** 県は令和2年に「埼玉県文化財保存活用大綱」を策定し、市町村には県の大綱を動案した「文化財保存活用地域計画」の作成を働き掛けてきました。現在、川越市をはじめ7市で作成され、川越市の計画では未指定の文化財にも焦点を当て、地域全体で守り伝えることとしています。県では、先進事例を共有する研修会の開催や、専門的な視点からの助言を行い、市町村の計画作成を積極的に支援していきます。



県指定の旧館「奥貫友山」の墓(川越市久下戸)。奥貫友山は江戸時代の大洪水(寛保の大洪水)に私財を投げ打ち、人々の救済に奔走、友山の功績に對して、大正13年(1924)には贈従五位が与えられている。どの地域にも、歴史上重要な役割を果たした先人がおり、当時の関連する文化財が残されている。

Q **しづやまみこ** 埼玉県には、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「川越氷川祭の山車行事」をはじめ、古くからの伝統行事や伝統芸能が、地元皆様の活動により守られており、それらの活動は地域に根差した文化活動の一つです。県では文化芸術活動を支援するため、文化振興基金を文化団体等へ助成しています。地元川越のお囃子や獅子舞の保存会でも、備品整備等に活用しています。私はより多くの文化団体を支援するために、もっと積極的に文化振興基金への寄付の

募集や助成事業のPRを行う必要があると考えますが、県民生活部長の所見を伺います。

A **県民生活部長** 県では、文化団体が行うイベント等で寄附を募っており、テレビ埼玉放送の「埼玉政財界人チャリティ歌謡祭」では、毎年多額の寄附をいただいています。今後は、このように話題性があるイベントで寄附を募ることを検討します。また、彩の国だよりやラジオでの周知、市町村や公民館を含む施設、団体等へのチラシの送付、SNSなどを使ったPRを行い、多くの団体に基金事業の活用を働きかけます。

児童養護施設の人材確保について

Q **しづやまみこ** 川越市の「埼玉育院」をはじめ、県内に児童養護施設は22施設あり、虐待などを受け児童養護施設で生活している子どもたちは、9月1日時点で1,121人います。しかし、現場は常に人手不足の状況で児童指導員や保育士などの採用が困難と聞いています。とりわけ夜間の宿直職員の確保が課題ということです。心に深い傷を負った子どもの心をケアし、子どもとの対話や生活を共にしていく中で、その子の成長や長所を最大限に引き出せるのは、携わる施設職員の皆様です。職員の確保ができなければ、こどもたちの安心・安全な生活を守ることができません。児童養護施設の人材確保について伺います。

A **福祉部長** 議員お話しのとおり、職員の確保が重要です。県では様々な支援を行っています。例えば、学生に入学金や学費など最大160万円を貸し付け、資格取得後に5年間児童養護施設で勤務した場合、返済を免除する制度があります。また、保育士資格を取得し児童養護施設職員に採用された方には、20万円の就職準備金制度もあります。さらに採用5年以内の職員を対象にした家賃補助も今年度から開始しました。また人件費も今年度から補助しています。今後もしっかりと取り組んでいきます。

地域計画の策定と農地の有効活用について

Q **しづやまみこ** 近年、高齢化による農業者数の減少に伴い、荒廃農地が課題となっています。農地の集約化を推進し、農地利用の効率化、農業の生産性向上につなげる計画を策定する重要な時期と考えます。県として、「地域計画」策定における市町村への支援と農地の有効活用について、どのように取り組んでいくのか伺います。

A **農林部長** 8月末現在、地域計画を策定する61市町村446地区の内、57%の252地区で協議の場が設置され進んでいます。引き続き協議の場に職員が参加し、農地の有効活用方針や目標地図の作成など、積極的に支援していきます。担い手不足の地域では、新規就農者の確保や企業参入などを進めます。また、担い手がいる地域では、農地中間管理事業の活用を促すと共に、ほ場整備事業の活用を提案するなど、農地の活用が進むよう取り組みます。

訪問歯科診療において必要不可欠な歯科衛生士の支援について

Q **しづやまみこ** 全国の歯科衛生士免許の所持者約30万人の内、就業しているのは約14万人です。出産・育児等で離職している方が多く、再就職の障害は「勤務時間」に次いで「自身のスキル」と聞きました。復職しやすい環境を整え、人材確保に繋げていくためにどのように支援していくのか伺います。

A **保健医療部長** 県では県歯科医師会と連携し、復職支援の研修会を開催しています。また研修と併せて、県歯科医師会が就職相談会を実施し、復職に対する質問に丁寧に対応しています。さらに県歯科医師会では、職業紹介をするホームページを作成し、無料で求人情報を提供しています。こうした取り組みの周知に県も努めるとともに、引き続き県歯科医師会等と連携して人材確保に努めます。

地元問題

(1) 県道川越栗橋線の交差点整備について

Q **しづやまみこ** 現在、県道と川越市道23号線の交差点整備を県と市で進めていますが、地元では早期の完成を望んでいます。そこで、県道側の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

A **県土整備部長** 現在の用地買収率は50%で、工事は交差点南側の60m区間の歩道の整備が完了。令和6年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、交差点北側の50m区間の歩道設置工事を行います。

(2) 県道川越日高線新琵琶橋の架換えについて

Q **しづやまみこ** 新琵琶橋架換え工事は、規制に伴う渋滞や歩行者・自転車は迂回する必要がありますことから、一日も早い完成を望んでいます。現在の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

A **県土整備部長** 工事は橋の歩道部分を活用し、車両の通行を確保しながら、新たな橋を半分ずつ施工しています。令和6年度は下流側半分を施工し、その後交通を切り替えて、残る上流側半分を施工します。

埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

しづやまみこ 政務活動事務所

〒350-0001 川越市古谷上5928-3
TEL:049-235-7100 FAX:049-277-8473
mail:info@shibuya-mamiko.jp



X(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムで情報発信中!!

県政たより

2025.3 Vol.5

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力 しぶや まみこ



所属委員会 警察危機管理防災委員会／少子・高齢福祉社会対策特別委員会／図書室委員会 発行：埼玉県議会自由民主党議員団

県議会2月定例会報告 前年度比5.2%増の超大型予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算 過去最大規模 一般会計 2兆2,308億9,000万円

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

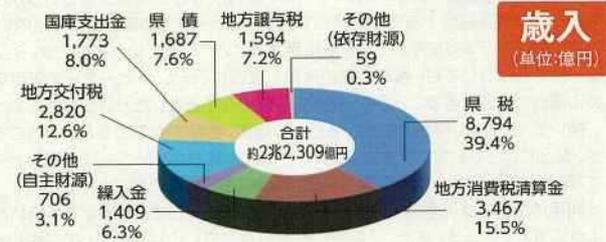
本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、「未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦」「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現、「DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進」を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等:約335億3,945万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等:約4億900万円)、医療体制の充実(人材確保等:約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。また、1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助が45億円)の計上も議決しました。

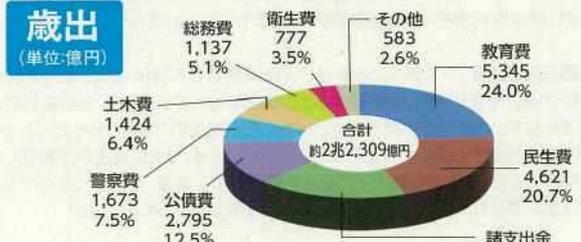


大野元裕知事、森田初恵川越市長と知事室にて。市と県を繋ぐ架け橋として、地元・川越市の発展に向け力を合わせ取り組んでまいります。

令和7年度一般会計当初予算



- 県税収入は、個人県民税や法人二税など8,794億円を計上
- 県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,687億円を計上
- 国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,773億円を計上
- 自主財源(県税、地方消費税清算金、他)は14,376億円(64.4%)
- 依存財源(国庫支出金、地方譲与税、県債、地方交付税、他)は7,933億円(35.6%)



- 教育費は、教職員給与費や公立小中学校における1人1台端末整備にかかる市町村への補助金など5,345億円を計上
- 民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金など4,621億円を計上
- 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,954億円を計上

喫緊の課題「オーバートーリズム対策」

川越市の取り組みを県政からバックアップ!

川越市は2月19日に、近年問題になっているオーバートーリズム対策の一環として、今年のゴールデンウィーク(GW)と秋の連休に一番街で「歩行者天国」を実施する方針を発表しました。

近年のオーバートーリズムに関する問題は、私も市民の皆さまから様々なご意見・ご要望をいただいております。喫緊の課題と考えております。森田新市長体制となった川越市と力を合わせ、県政の立場からしっかり取り組んでまいります。



警察危機管理防災委員会審査報告

県の施策に対して質問

第62号議案「令和6年度埼玉県一般会計補正予算【第5号】について

私が所属する警察危機管理防災委員は2月26日、第62号議案「令和6年度埼玉県一般会計補正予算【第5号】(補正額:557億8,677万1千円)」における実施事業の内、(1)液化石油ガス価格高騰対策支援事業費、(2)災害対策用物資備蓄費の2件について審査を行いました。

補正予算【第5号】は、国の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づくもので、エネルギー価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援や防災・減災、国土強靱化のための公共事業の追加などの経費が計上されたものです。



(1) 液化石油ガス価格高騰対策支援事業費について

※価格高騰するLPガスの消費者の負担を軽減するため、販売事業者を通じ補助しようとするもの。1世帯当たり1,500円を上限としたガス料金の補助、販売事業者に対する事務経費の補助、補助金審査に関する業務委託を行うための予算です。(補正予算額:23億6,193万円)

Q しぶやまみこ 液化石油ガス価格高騰対策支援事業費の件ですが、まず第1回及び第2回の補助事業の経験を踏まえて見直した点、また工夫した点などがあれば教えてください。

A 化学保安課長 まず補助事業のときに、事務の負担が大きいという声の販売事業者の方からありましたので、申請時の一覧表の添付を省略させていただき、件数だけの確認にさせていただくことにしました。

それから、報告の方ですが、実績報告の期間がちょっと短かったので、前回よりも2週間ほど延長して、少し余裕を持って報告していただけるようにしたいと考えています。また、これまでコールセンターで営業時間中、私どもの開庁時間の間、コールセンターでご質問を受け付けていましたが、今回は問合せフォームを作成して、24時間いつでもお問合せができるような形にして、販売事業者さんの負担の軽減を図ってまいりたいと考えています。

Q しぶやまみこ システム改修経費上限150,000円とありますが、システム改修経費の補助はどのような用途で、どのように行われるのか伺います。

A 化学保安課長 システム改修費は、販売事業者さんはほとんどの方が検針票や請求書をシステムで印刷するよう形で行っていき、今回請求額から値引きをしていただいで補助をするということがあるので、そういったことでシステムの改修が必要になるという方がいらっしゃいます。また、埼玉県が補助しているということを記載していただくこともお願いしています。そういった点でシステム改修が必要だという事業者さんに対して補助をしているものです。

Q しぶやまみこ システム改修経費の件ですが、既に1回目、2回目システム改修経費の補助を受けた事業者も対象となるのか伺います。

A 化学保安課長 1回目、2回目のときに補助を受けた事業者さんも、今回補助額が変わるので、そういったことでシステム改修が必要という方も中にはいらっしゃると思います。その場合は、補助の対象になると考えています。今回3回目となりますので、今後このような補助事業があるかどうかはちょっと分かりませんが、繰り返し改修することのないように、LPガスの協会などとも連携して、改修の仕方について検討いただくように周知を図りたいと考えています。

(2) 災害対策用物資備蓄費について

※避難所における冬期の生活環境改善のための資機材としてヒーターや発電機を備蓄するための経費。平時には市町村等のイベントや防災訓練で活用してもらい、県民の災害に備える意識の向上を図るための予算です。(補正予算額:1,904万1千円)

Q しぶやまみこ 災害対策用物資備蓄費について伺います。なぜ、ジェットヒーターとインバーター発電機を備蓄することにしたのか、また、インバーター発電機とジェットヒーターはどのぐらいの期間使用できるのか伺います。資機材は定期的に利用すれば、長期間使用できると思いますが、どのように利用していくのかあわせて伺います。

A 災害対策課長 ジェットヒーターは、避難所などの環境改善というか、効果的な暖房器具であると認識しており、ただ一方で備蓄している県内の市町村が少数にとどまりますので、県で備蓄することにしたというものです。インバーター発電機についても、停電の際の活用を念頭に、ジェットヒーターを使用するために電源が必要であることから、併せて備蓄することとしたというものです。

続いて、これらの資機材でどのぐらいの期間、使用できるのかということですが、製品によっても異なりますが、メーカーに確認をしたところ、ジェットヒーターで7年から10年程度、インバーター発電機は約10年程度とのことでした。

利用については災害時に必要とする市町村に搬入して、避難所で活用いただくように考えています。また、平常時にも市町村に貸し出しなどをして、防災訓練とかイベント等で使用していただき、市町村の職員の方や住民の方に、体験していただくことも考えています。

令和7年度の主な施策(抜粋)

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化.....4億899万6千円

①警察官の増員(全国最多 175人増員)、②データウェア上における情報収集力の強化、他

■消費者被害対策の推進.....3,174万5千円

①消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、②市町村相談体制支援員の設置、県内消費生活相談体制の維持、他



2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保.....7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正
①長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、②地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(寄附講座運営支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

①採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、②事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、③埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化.....1億7,567万8千円

①75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、②夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催.....10億1,615万3千円

①当日の式典運営・式典会場の現状復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



4. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保.....3,572万1千円

①新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への参入を支援、他

■水稻のカムシ類・高温被害への対策.....3,086万4千円

①イネカムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除委託体制を充実等)、②高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他



2024年 73号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討議資料】

埼玉県
議会議員
自由民主党議員団 所属

しらと ゆきひと

白土 幸仁

県政
報告



初心を忘れず、これからも地域から日本を変える力に！

皆様におかれましては、健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。令和6年度も引き続き、自民党県議団の政務調査会長として、初心を決して忘れる事無く、僭越ながら県議会の政策を牽引させて頂き、埼玉県民の皆様へ貢献出来るよう邁進して参ります。また、春日部市も大きく変わる節目にあります。春日部駅の高架化事業は、本年度、伊勢崎線仮線の使用が始まり、野田線の高架化工事が始まります。赤沼銚子口産業団地は、県の企業局が来年度の事業化を目指します。古利根川への船着場の設置等、新たな賑いの創出事業が予算化されます。春日部駅西口再開発と北春日部駅西口周辺区画整理事業は、埼玉版スーパーシティプロジェクトとして支援が本格化して参ります。これらの事業に対し、今後とも力強い後押しが出来るよう、努力を惜しまず、邁進して参ります。引き続き、白土幸仁に対する叱咤・激励とともに、皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

県政なんでも課 白土課長の利用方法

- <業務内容> 一緒に政治を変えたい方。何でもどうぞ！
- ①県政を解かりやすく説明します。出前訪問も致します。
 - ②議会へ条例案や議会方針等の提出をお考えの方。

県政なんでも課の課長に、自ら勝手に就任しております白土幸仁です。

大盛況 24時間受付中

連絡先：090-9323-0330

E-mail:yukihito@xj8.so-net.ne.jp

マンガでわかる 『令和6年度 埼玉県予算』について



当初予算額の施策には何が
ありますか？

令和6年度の県の一般会計の当初予算額は過去最高額である2兆1,197億4,400万円（前年比4.1%減）を計上しました

こんにちは
白土幸仁です
2月定例会
議会が開会
されました

埼玉県議会議員 白土幸仁 しらと ゆきひと

春日部駅西口再開発と北春日部駅区画整理組合も登録している埼玉版スーパーシティプロジェクトの推進です
12億185万円

◆ 市町村・企業等の交流機会拡大とマッチング強化

- ・官民連携を促進する交流会の拡充
- ・企業提案を募るガバメントピッチの拡充
- プロジェクトに取り組む市町村の増加に対応し、企業等の参加しやすさにも配慮

◆ プロジェクトに取り組む市町村への補助

①事業化検討補助	②事業推進補助
補助率 1/2、補助上限 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率 1/2、補助上限 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

次ページへ続く

毎号の恒例になりましたマンガですが、もっと詳しくお知らせしたいのですが、濃い内容にすると分かり難くなるし、その間が難しいのですが、その時々注目ニュースを中心にお知らせして参ります。ぜひご意見下さい。

春日部市内の事業についてはいかがでしょうか？

春日部駅の高架事業の工事がさらに進んで参ります

本年度予算30億
3,100万円

本年度はどこまで進展しますか？

拡充 子育て家庭への経済的支援
37億6,910万4千円

◆ 子育て医療費助成制度の拡充

区分	補助率
0歳～1歳	50%
1歳～2歳	50%
2歳～3歳	50%
3歳～4歳	50%
4歳～5歳	50%

・補助対象年齢の拡大、所得制限の撤廃
→ 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を後押し

子ども医療費助成額を拡大します

県の助成拡大により春日部市も18歳年度末まで拡大！

ここでは全てをお話する事ができませんでしたが、ぜひお気軽にここまでお問い合わせ下さい

今回ご紹介した事業以外にも、お知りになりたい方は、ぜひお気軽にここまでお問い合わせ下さい

出前県政報告会も開催します。

電話:090-9323-0330
FAX:048-736-1568

これからは連日多くの工事関係者もお越し頂く事になり、地元経済の振興にも寄与しますね

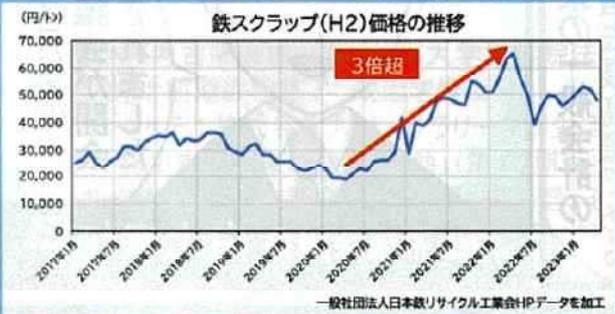
いよいよ伊勢崎線の仮線の利用が始まることで、野田線の高架工事が始まりま

令和6年度 春日部立の事業内容について

プロジェクトチームにて「スクラップヤードの規制条例」を作成中！

1 提案の背景

▶ 金属スクラップの国外需要増大等による価格上昇
鉄スクラップ(H2*)価格 ~関東エリア(安値)~
[2020.4] 19,000 円/t ▶ [2022.4] 65,500 円/t

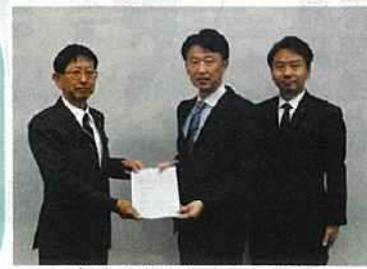


目的

県内において、金属スクラップ、使用済みプラスチック等の屋外保管施設が多く立地するようになり、保管に伴う騒音や崩落、火災の発生など、県民生活の安全に支障をきたす状況が発生している。そこで県民生活の安全の確保及び、生活環境の保全に寄与することを目的とした条例を制定しようとするものです。

▶ 県内各地に再生資源物の保管場所(スクラップヤード)が急増

- 【特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例(素案)】**
- ・事業を行おうとする者(100㎡以上)は許可申請をする。
 - ・許可申請をする者は住民説明会をしなければならない。
 - ・県は事業者に対し、指導助言を行うことができる。
 - ・無許可又は、変更の許可を受けずに事業を行うと1年以下の懲役、100万円以下の罰金を課す。
 - ・虚偽の届出をした者は、30万円以下の罰金を課す等。



▲ 執行部からの意見徴収

【今後のスケジュールについて】

昨年12月に実施したパブリックコメントでの県民の皆様から頂いたご意見を踏まえて、修正を加え、4月中に、検察協議に入る予定です。最終的には、6月議会での上程を目指します。



地図でわかる。春日部の未来の発展に繋がる 令和6年度埼玉県事業

古隅田川の河川改修

護岸改修工事、旧橋の撤去と掛け替え工事にて冠水の無い街に。

春日部駅周辺鉄道高架事業



本年5月には、伊勢崎線仮線路の利用開始予定。



令和10年に野田線高架を完成させ、早期の駅利便性向上を図る。

春日部駅西口再開発事業への支援

再エネ等の先端技術を積極的に取り入れ、今までに無い市街地を創出する再開発を支援。本年度の都市計画決定を目指し、駅と接続させ、賑わいのある回遊ゾーンを創る。



野田岩槻線(上野長宮線)

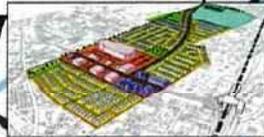
16号より順次工事を推進、令和8年度の開通を目指す。

東埼玉道路(国事業)

- ・本年度は古利根川橋工事、中川橋工事春日部地区改良工事
- ・事業効果を数値化する
- 費用便益比4.9は異例の高さ
- ・既に庄和IC付近では406億円経済効果

北春日部駅周辺地区土地区画理事業への支援

埼玉版スーパーシティプロジェクトとして、新市街地創出を強力に支援。約1000戸の住宅と商業施設の建設を目指す。



次木杉戸線(宝珠花橋)

橋面の舗装、塗装塗り替え令和6年度までに全て完成。

西金野井春日部線

新川橋の工事や、周辺に歩道整備など、牛島交差点付近の改良工事を推進。

古利根川の護岸改修

新たな川の再生として、船着場など常時賑わいが期待される、改修推進。

松伏春日部関宿線

約300m舗裝修繕。

会之堀川の改修

護岸工事で、治水強化。

赤沼・銚子口産業団地

埼玉県企業局が、産業団地を造成。令和7年度以降、工事開始予定。



春日部松伏線(赤沼)

約500mの補修修繕 振動や騒音の軽減。

春日部夢の森公園の充実



公園南側と北側がスムーズに行き来が出来るよう、横断歩道を設置。今後とも、みどりに親しみ、森を通して人とつながる拠点となる公園を目指す。

大場大枝線整備(アンダーパスへ)



今年度は、東武鉄道と工事協定を締結予定。令和13年の工事完成を目指す。

武里駅西口入口5交差路における、渋滞の解消と、踏切事故のゼロを目指す。

予算特別委員会の総括質疑に登壇。団を代表し質疑をさせて頂きました！



＜令和6年度予算編成＞

基金の積極的活用と、ここぞという時には積極的な財政出動を

＜あと数マイルプロジェクトと地下鉄7号線延伸＞

あと数マイルプロジェクトの全ての路線が重要であるが、まずは現時点で実現性の高い地下鉄7号線延伸を優先するべき

＜バス路線維持対策費＞

自動運転への移行までの間は、人材不足対策に全注力をすべき

＜県庁舎再整備検討事業費と県有施設改修・修繕事業費＞

老朽化した地域機関の改修と、早急に新県庁舎の位置の決定を

＜埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進＞

それぞれの事業規模により、財政支援を増額させるべき

映像
はこちら

2023年度観光振興関連予算(当初予算)単位:千円

順位	都道府県 政令市	観光振興関連予算	当初予算からの割合
1位	東京都	26,364,000	0.30%
2位	沖縄県	20,119,124	2.41%
3位	栃木県	4,951,889	0.50%
4位	横浜市	4,598,997	0.22%
5位	福島県	3,887,712	0.30%
6位	山梨県	3,310,151	0.60%
7位	三重県	3,256,342	0.42%
8位	福岡市	3,032,000	0.28%
9位	高知県	2,703,364	0.59%
10位	鳥取県	2,642,224	0.50%

順位	都道府県 政令市	観光振興関連予算	当初予算からの割合
67位	相模原市	239,126	0.07%
66位	川崎市	242,762	0.03%
65位	岩手県	326,774	0.04%
64位	秋田県	424,624	0.07%
63位	埼玉県	469,570	0.02%
62位	長野県	496,465	0.04%
61位	神奈川県	514,733	0.02%
60位	千葉市	574,325	0.12%
59位	京都府	592,720	0.05%
58位	堺市	632,654	0.01%
54位	さいたま市	697,713	0.01%

週刊トラベルジャーナル 2023年6月19日号より

＜儲かる農林業の推進＞

県産いちご苗の増産体制を強化すべき

＜変化に向き合う県内企業支援と新たな産業の育成＞

起業家サロンとロボティクスセンターの連携強化を

＜魅力ある観光の構築に向けての推進予算＞

全都道府県と比べて下位レベルの予算を増額すべき

＜質の高い学校教育の推進＞

老朽化した高校50mプールの改修と、中高一貫教育と国際バカロレアなどの新しいチャレンジをすべき

＜スポーツ科学拠点施設の整備＞

Park-PFI方式は、県が責任を持って見守るべき

自民党県議団より付帯決議を提案し可決！

1. 地下鉄7号線について、本年は延伸への大事な一年として、さいたま市との強力な伴走体制の構築に努めること。
2. 県立高における職業教育の充実、専門学科の創設、中高一貫教育校、バカロレア校の設置等、県民ニーズに応えるために更なる検討を行うこと。
3. 起業家サロンとロボティクスセンターの連携と、国のスタートアップ・エコシステム拠点都市への参加を見据えた事業の進捗を図ること。
4. バーチャルユースセンターについては、既存のユースセンターの知見を生かしながら運営し、リアルなユースセンターの創設を
5. 子どもの育成等や、福祉介護に携わる人材流出と、人材不足を補うために早急に県単独で、更なる処遇改善を講じること。
6. 高次脳機能障害者への支援について、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」にとどまらず、医療と福祉の連携の観点からも「高次脳機能障害及びその関連障害に対する地域支援ネットワーク構築促進事業」を活用し、圏域ごとに診断できる拠点病院を指定し支援を強化すること。

白土幸仁 プロフィール

- 1973年サラリーマンの父と幼稚園先生の母より誕生
- 武里小学校・武里中学校・県立庄和高校(10期生)・帝京大学文学部史学科考古学専攻卒業・日本大学大学院法学研究科政治学専攻 博士前期課程修了 政治学修士
- 日本ビューホテル株式会社入社 サラリーマン生活5年
- 大前研一氏主宰の政策学校「一新塾」(第10期生)で学ぶ
- 2003年4月 春日部市議会議員選挙に初当選、その後3期連続当選、建設常任委員会委員長、監査委員に就任
- 2011年4月 埼玉県議会議員に初当選 現在4期目 自民党県議団 政務調査会長、文教委員会委員、危機管理・大規模災害対策特別委員会委員、自民党埼玉県連・前青年局長、東埼玉道路推進議連幹事長代理、春日部駅鉄道高架議連事務局長、アニメコンテンツ活用推進議連幹事長、県議会鉄人部事務局長、越谷アルファーズ後援会幹事長等に就任し現在活動中
- 市内外活動も積極的におこなっています。春日部市サッカー協会顧問、商工会議所青年部OB会、春日部青年会議所OB会



- 好きな事 耳かき、土手で昼寝、みんなでわいわいビール
- 家族 妻・娘・息子
- 趣味 博物館・史跡巡り、トリアスロン、卓球、波乗り(ロング)
- 特技 けん玉4級、水泳、バク宙
- 資格 実用タイ語検定5級、情報処理技術者、1級小型船舶免許、手相リーディング資格所持
- 夢 日本に元氣と誇りを！

ご意見
ご感想募集

本人直通: 090-9323-0330 Eメール: yukihito@xj8.so-net.ne.jp
 【春日部中央事務所 平日10:00~16:00】 TEL:048-739-7223 FAX:048-739-7224
 春日部市中央1-59-4 恵ビル101(内谷陸橋通り 藍屋さんの隣)
 【武里事務所】 春日部市備後西3-4-13 TEL:048-795-7140 FAX:048-736-1568



2025年 74号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討議資料】

埼玉県
議会議員
自由民主党議員団 所属

しらと ゆきひと
白土 幸仁

県政
報告



謹賀新年。信頼出来る政治に向けて、これからも地域の声に耳を傾ける！

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
議員提案条例においては、一昨年の大きな反省を活かし、条例制定の過程をゼロから見直した中で、「こども・若者基本条例」「拉致問題の早期解決に向けた条例」「県制度融資における求償権放棄についての条例」「スクラップヤード規制条例」「ノーマライゼーション条例の一部改正」の5つの条例を制定させて頂きました。今後とも、着実に政策を実行する事で、政治への信頼を取り戻せるよう、努力して参ります。議員提案条例については、時代の変化に即応した政策を推し進めます。春日部市内においては、春日部駅高架事業について、野田線の高架化工事も開始され、地域の皆様のご協力により順調に推移しており、深く感謝申し上げます。今後は、県スーパーシティプロジェクトの一つである西口再開発事業との連携を密にしながら事業を推進して参ります。また、赤沼銚子口産業団地について、いよいよ造成工事を開始する段階が迫っており、地権者の皆様と密接に関わりながら、本格工事に向けて努力して参ります。今後とも、市内における県が関わるビックプロジェクトの推進について、関係諸団体との連携を密にしながら努力して参ります。本年も、未来に繋げる挑戦の年と位置付け、地域の声にしっかりと耳を傾けつつ、邁進して参ります。皆様の叱咤激励とご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



▲県議会越谷アルファーズ後援会幹事長として、専用アリーナ建設に向け全力を尽くす。



▲丁寧な条例制定過程を担保すべく、有識者の皆様や執行部との協議を密にする。

県政なんでも課 白土課長の利用方法

- ＜業務内容＞ 一緒に政治を変えたい方。何でもどうぞ！
- ①県政を解かりやすく説明します。出前訪問も致します。
 - ②議会へ条例案や議会方針等の提出をお考えの方。

県政なんでも課の課長に、自ら勝手に就任しております白土幸仁です。

大盛況 24時間受付中

連絡先：090-9323-0330
E-mail:yukihito@xj8.so-net.ne.jp

マンガでわかる 『令和6年度 12月議会』について



コナン

どのよう内容になりますか？

防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善です

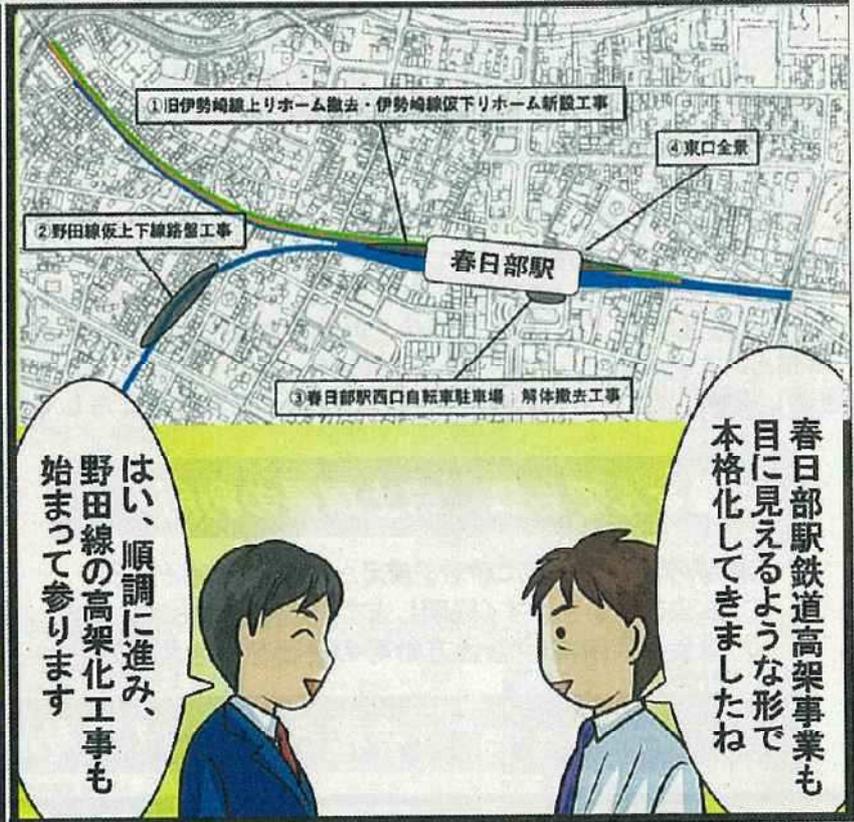
12月議会の重点施策には何がありますか？

こんにちは 白土幸仁です 12月定例会議会が閉会しました

埼玉県議会議員 白土幸仁 しらと ゆきひと

次ページへ続く

毎号の恒例になりましたマンガですが、もっと詳しくお知らせしたいのですが、濃い内容にすると分かり難くなるし、その間が難しいのですが、その時々注目ニュースを中心にお知らせして参ります。ぜひご意見下さい。



出前県政報告会も開催します。
電話:090-9323-0330
FAX:048-736-1568



議員提案にて『県制度融資に係る求償権放棄についての条例』が可決！

目的

埼玉県信用保証協会が求償権を行使して回収金を取得した場合に生じる、県への回収納付金を受け取る権利の放棄に関する事項を定める事により、**事業再生**や**再チャレンジ**が出来る事で、地域経済の振興に資することを目的とする。

知事が議会の議決を得る事無く、迅速に放棄が可能に！

知事は、保証協会から求償権放棄等の申出があった場合において、**事業再生**又は**再チャレンジ**等に基づくものであり、かつ、**地域経済の振興に資する**と認める時は、当該求償権に係る**回収納付金**を受取る権利を**放棄**する事が出来る。

- ▶ 求償権放棄を承認するにあたっては**専門家からの意見を聴く**ものとする。
- ▶ 求償権放棄を承認した場合、議会に報告しなければならない。(社名などは**秘匿**)

議員提案にて『拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例』が可決！

都道府県では
全国初の条例化！

条例制定の背景

令和5年12月より、多くの関係者の皆様からご意見を頂きました。感謝申し上げます。

日朝首脳会談から20年以上が経過したが、帰国を果たした拉致被害者は5人とどまり、いまだ拉致問題の解決には至って無く、埼玉県においても、政府が認定した拉致被害者1名を含む21人の安否がいまだに確認されておりません。拉致問題の被害者等とその家族の高齢化が進む中で、時間的制約があるこの問題は、ひとときもゆるがせにできない人道問題であり、一刻も早く解決されなければならないと考えます。そこで、北朝鮮による拉致被害者等の問題及び北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案に係る問題の早期解決に向けた施策の推進に関する条例を制定しようとするものです。

内容

基本理念：拉致問題を風化させないという決意の下、拉致問題の早期解決に資することを目的とする。

- ① 国と連携しつつ、県は、拉致問題に関する啓発活動を積極的に行う。
- ② 県民は拉致に関する情報を得た時は、速やかに警察本部や警察署に情報提供すること。
- ③ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間において、その趣旨に相応しい事業を実施するものとする。
- ④ 県は、学校等の教育活動において、拉致問題の風化防止及び、理解増進の施策を講じるよう努める。
- ⑤ 知事は、県職員に対し、拉致問題に関する研修、その他の必要な処置を講ずるものとする。
- ⑥ 警察本部長は、警察職員に対し、拉致問題に関する研修、その他の必要な処置を講ずるものとする。

議員提案にて『埼玉県子ども・若者基本条例』が全会一致で可決！

1「子ども・若者が有する権利の保証」2「社会全体で子育て・子育てを支える取り組みの推進」3「子ども・若者等の意見徴収・意見反映の導入」4「子育てに関する様々な分野の施策を総合的に推進」5「保護者・養育者に対する施策の推進」以上、5つの柱を中心に、県全体で、子ども・若者を応援する機運を高めつつ、子ども・若者に優しい社会を確立するべく本条例を制定させて頂きました。

<多くの皆様からのご協力に、深く感謝申し上げます>
・児童福祉・教育・経済・労働分野など70以上の団体との意見交換
・パブリックコメントでは、82名の方から151のご意見・ご提案



『(仮)情報アクセシビリティの確保に関する条例』パブリックコメント募集中！

自民党県議団内プロジェクトチームにて、検討を重ね、本年1月下旬まで、以下の条例の骨子案について、自民党埼玉県連のホームページにて県民の皆様よりパブリックコメントを頂き、2月定例議会に議員提案として上程させて頂きます。

自民党埼玉県連支部連合会ホームページ <https://kengidan.jimin-saitama.net>

経緯

令和4年5月、共生社会の実現を目的とした『障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律』が制定。そこで本県においても、全ての県民が個性を尊重しつつ支え合う共生社会を実現する為、**障害者のみならず、広く県民誰もが、必要な情報を取得し、円滑なコミュニケーションを図る事ができる世の中の実現**が重要と考え、本条例の制定を目指す。

内容

- ① 障害者又は、高齢者で日常生活・社会生活において情報の取得に制限を受ける状態にある者を支援の対象にする。
- ② 社会全体で情報アクセシビリティの確保が推進されるよう、県民や事業者、県が果たすべき役割を規定する。

自民党県議団による『教育機関等におけるいじめ対策プロジェクトチーム』が発足！

教育機関等においての、いじめの認知件数は年々増加傾向にあり、実際に発生している事案は、その何倍もあると考えます。そして今、いじめの原理や、その対策においては、多くの研究の蓄積により、確かなエビデンスが得られている環境にあります。そこで、自民党県議団では、最新の研究成果を活かすとともに、今までの効果検証を参考にし、いじめを根絶する政策を推進する為、プロジェクトチームを発足いたしました。

▶その法人ストロブいじめナビの代表、荻上チキ様にお越し頂いての講演会を開催。



米・果樹等に大きな被害をもたらしているカメムシ類の防除対策に全力！

昨夏の猛暑でカメムシ類が大量発生 ▶ 県東部で前年の約8倍確認される。

稲作 ▶ 高温被害も重なり、一反で一俵も収穫出来ない農家もあるなど、特に飼料米・米粉用米の収穫に大きな被害が発生。

果樹 ▶ 商品にならない品物が多く発生し、令和4年の雹被害から立ち直りつつある果樹栽培に大きな打撃。

課題を整理し提言

緊急視察
松伏町・吉川市地内を



被害の大きかった、松伏町・吉川市地内を、県農林部長と共に、吉川市の生産者の皆様から現状をご教授頂く。



松伏町役場にて、鈴木町長の同席のもと、大規模農家の皆様との意見交換。

▲JA南武蔵郡本部本店にて、関東農政局をお迎えし、地域の生産者の皆様と意見交換。



関東農政局より各種補助や減免制度のご説明を頂く。

果樹生産者の皆様からも意見を伺う。



自民党県議団より執行部へ緊急要望を実施！実現に向けて全力を尽くす。

- 1、カメムシ類等の防除については、**広域・集団防除**が効果的であり、実施可能な地域では来年度の実施に向けて検討すること。
- 2、カメムシ類等を越冬させない為、農閑期における対策を実施すること。
- 3、カメムシ類等が、農地以外にも生息しており、特に河川や公園の除草による飛来の報告があるため、**除草時期**に関しては、**国・市町村・他県**など関係各者との連携を図ること。
- 4、今回の被害は、災害と捉え、農業による防除や、**果樹用の防虫ネット**に対して、**各戸への補助**を検討すること。
- 5、大きな被害により、来年の作付けや栽培に向けて、影響が出ている**農家への融資制度**の創設を検討すること。
- 6、飼料用米、米粉用米の供出について大きな影響が出ており、収量低下による減免制度の活用が見込まれるので、**提出書類の簡素化**など、**県が書類提出への支援**を行うこと。
- 7、カメムシ類等の発生源等の**生態研究**をすすめること。
- 8、**高温に強い品種開発**を加速させること。



白土幸に プロフィール

- 1973年サラリーマンの父と幼稚園先生の母より誕生
- 武里小学校・武里中学校・県立庄和高校(10期生)・帝京大学文学部史学科考古学専攻卒業・日本大学大学院法学研究科政治学専攻 博士前期課程修了 政治学修士
- 日本ビューホテル株式会社入社 サラリーマン生活5年
- 大前研一氏主宰の政策学校「一新塾」(第10期生)で学ぶ
- 2003年4月 春日部市議会議員選挙に初当選、その後3期連続当選、建設常任委員会委員長、監査委員に就任
- 2011年4月 埼玉県議会議員に初当選 現在4期目 自民党県議団 政務調査会長、文教委員会委員、危機管理・大規模災害対策特別委員会委員、自民党埼玉県連・前青年局長、東埼玉道路推進議連幹事長代理、春日部駅鉄道高架議連事務局長、アニメコンテンツ活用推進議連幹事長、県議会鉄人部事務局長、越谷アルファーズ後援会幹事長等に就任し現在活動中
- 市内外活動も積極的におこなっています。春日部市サッカー協会顧問、商工会議所青年部OB会、春日部青年会議所OB会



- **好きな事** 耳かき、土手で昼寝、みんなでわいわいビール
- **家族** 妻・娘・息子
- **趣味** 博物館・史跡巡り、トリアスロン、卓球、波乗り(ロング)
- **特技** けん玉4級、水泳、バク宙
- **資格** 実用タイ語検定5級、情報処理技術者、1級小型船舶免許、手相リーディング資格所持
- **夢** 日本に元気と誇りを！

ご意見
ご感想募集

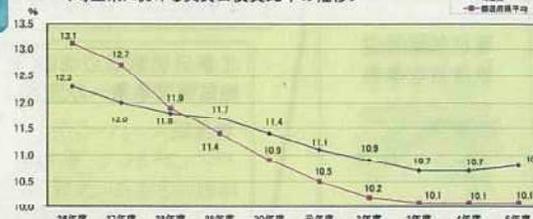
本人直通：090-9323-0330 Eメール：yukihito@xj8.so-net.ne.jp
 【春日部中央事務所 平日10:00~16:00】TEL:048-739-7223 FAX:048-739-7224
 春日部市中央1-59-4恵ビル101(内谷陸橋通り 監屋さんの隣)
 【武里事務所】春日部市備後西3-4-13 TEL:048-795-7140 FAX:048-736-1568

予算特別委員会の総括質疑に、自民党県議団を代表し質疑をさせていただきました！



＜北部地域振興拠点施設整備～未来の県庁モデルについて～＞
 県地域機関の建替え時には、市町村庁舎の更新と連携の検討を
 ＜あと数マイルプロジェクト 地下鉄7号線について＞
 企業局と連携し、まちづくりに力を入れながら蓮田まで早期延伸
 ＜市町村振興事業費 埼玉県ふるさと創造資金について＞
 令和6年度予算残額が多い、ふるさと創造資金の活用を民間にも
 ＜県庁舎再整備の推進について＞
 現在地と浦和美園地区、庁舎候補地を令和7年度中に最終決定を
 ＜令和7年度予算編成と起債発行額の限界について＞

以下のグラフのように、2.4兆円までは、起債が可能。大型事業や、インフラ更新の際は、躊躇せずに積極的な財政出動をすべき
 ＜埼玉県における実質公債償比率の推移＞



＜儲かる農業の推進について＞
 イネカメムシの防除強化により、生産者支援を
 ＜埼玉版スーパーシティプロジェクトについて＞
 参加団体が急増する中で、新たな補助制度の創設を
 ＜魅力ある観光の構築に向けての推進予算＞
 全都道府県と比べて下位レベルの予算を増額すべき
 ＜質の高い学校教育の推進について＞
 私立高校授業料無償化が令和8年度に開始する中で、
 県立高の生き残りの為、プロジェクトチームの創設を
 ＜災害対策用の備蓄食料について＞
 保存食として適している県内産おせんべいの採用を

自民党県議団より付帯決議を提案し可決！

1. 順天堂大学医学部附属病院の撤退に伴い、県内の医師確保対策は急務であるため、奨学金制度や医療機関への支援の充実に努めること。
2. もうかる農業の実現のため、農業技術研究センターの業務の効率化を図り、研究成果をより発揮できるように、ソフト・ハ、1面の充実を図ること。
3. 高校授業料実質無償化に対応するため、今後の県立学校の魅力向上を含めた在り方の検討を行うこと。
4. 県庁舎の建替えについては、令和7年度中に場所の選定を行うとともに、選定されなかった候補地の利活用を含めた議論を行うこと。
5. 人材流出と人材不足が顕著な、保育士・幼稚園教諭・児童養護施設職員・介護士・看護師等について、更なる処遇改善を講じること。
6. 障害児者等に対して歯科診療を行う埼玉県歯科医師会口腔保健センターについて、設備の更新と運営費補助の在り方に関して、他の公設5施設との整合性や公平性を考慮した支出に改めるよう努めること。
7. 教職員の駐車場費用負担について、勤務校による不公平が生じないよう、統一的な基準を早急に検討し、公平性を確保するよう努めること。

白土幸仁 プロフィール

- 1973年サラリーマンの父と幼稚園先生の母より誕生
- 武里小学校・武里中学校・県立庄和高校(10期生)・東京大学文学部史学科考古学専攻卒業・日本大学大学院法学研究科政治学専攻 博士前期課程修了 政治学修士
- 日本ビューホテル株式会社入社 サラリーマン生活5年
- 大前研一氏羊の政策学校「新塾」(第10期生)で学ぶ
- 2003年4月 春日部市議会議員選挙に初当選、その後3期連続当選、建設常任委員会委員長、監査委員に就任
- 2011年4月 埼玉県議会議員に初当選 現在4期目、第129代埼玉県議会議員に就任、企画財政委員会委員、自民党埼玉県連・青年局顧問、東埼玉道路推進協議会幹事長代理、春日部駅鉄道高架協議会幹事長、アニメコンテンツ活用推進協議会幹事長、中小企業・小規模企業を支援する協議会幹事長、県議会鉄人部事務局長、越谷アルファーズ後援会幹事長等に就任し現在活動中
- 市内外活動も積極的におこなっています。春日部市サッカー協会顧問、商工会議所青年部OB会、春日部青年会議所OB会

ご意見 感想募集
 本人直通: 090 9323 0330 E-mail: yukihito@xj8.so-net.ne.jp
 【春日部中央事務所 平日10:00~16:00】 TEL:048-739-7223 FAX:048-739-7224
 春日部市中央1-59-4恵ビル101(内容陸橋通り 監屋さんの隣)
 【武里事務所】 春日部市備後西3-4-13 TEL:048-795-7140 FAX:048-736-1568



■好きな事 耳かき、土手で昼寝、みんなでわいわいビール ■家族 妻・娘・息子 ■趣味 博物館・史跡巡り、トリアスロン、卓球、波乗り(ロング) ■特技 けん玉4級、水泳、バク宙 ■資格 実用タイ語検定5級、情報処理技術者、1級小型船舶免許、手相リーディング資格所持、ファイナンシャルプランナー3級 ■夢 日本に元氣と誇りを！

The shirato report 白土レポート ● 日本を変える力に

2025年 75号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討論資料】
 埼玉県 議会議員 白土 幸仁
 自由民主党県議団 所属
 県政 報告

第129代 埼玉県議会議員長 に就任させていただきました！

八潮市における道路陥没事故におきましては、被害に遭われた皆様に対し、お見舞い申し上げますとともに、下水道緊急放流等、多くの県民の皆様にはご協力とご理解を頂きましたことに対し、深く感謝申し上げます。
 令和6年度は、自民党県議団の政務調査会長として、情慮ながら県議会の政策を牽引させて頂き、県民の皆様へ貢献出来るよう邁進して参りました。そして、令和7年度は、二元代表制の一翼を担う県議会議員長として、これまでの経験を活かし、公平、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くして参ります。

また、本市も大きく変わる節目にあります。春日部駅の高架化事業は、野田線の高架化工事が始まります。赤沼鏡子口産業団地は、県企業局が来年度の事業化を目指し、市と連携を強めて参ります。さらには、古利根川への新たな船着場の設置等、賑いの創出の為、本年9月より工事も開始します。春日部駅西口再開発と北春日部駅周辺区画整理事業は、スーパーシティプロジェクトとしての支援も本格化します。これらの事業に対し、努力を惜しまず、邁進して参ります。引き続き、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲初めての本会議での議長職 ▲知事への就任のご挨拶へ



▲県立大学入学式にて祝辞 ▲県内マスコミ関係者へ就任の挨拶

県政なんでも課 白土課長の利用方法

- ＜業務内容＞ 一緒に政治を変えたい方。何でもどうぞ！
 ①県政を解かりやすく説明します。出前訪問も致します。
 ②議会へ条例案や議会方針等の提出をお考えの方。

県政なんでも課の課長に、自ら勝手に就任しております白土幸仁です。
 大盛況 24時間受付中
 連絡先: 090-9323-0330
 E-mail: yukihito@xj8.so-net.ne.jp

マンガでわかる 『令和6年度 2月議会』について

白土幸仁です 2月定例会議が閉会しました

埼玉県議会議員 白土幸仁 しらとゆきひと

次ページへ続く
 毎号の恒例になりましたマンガですが、もっと詳しくお知らせしたいのですが、濃い内容にするとなかなか読めず、その間が難しいのですが、その時々注目のニュースを中心にお知らせして参ります。ぜひご意見下さい。

流域治水対策の推進

- 中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの推進
- 新方川で新たな調節池の整備に着手
- 既存施設の有効活用策の検討



約335億円

新方川など、流域治水対策の推進にて、激甚化する自然災害に対応して参ります

議員提案により埼玉県子ども若者基本条例が制定され、今年からは子ども真ん中元年と捉え、様々な施策が、新たに始まります



犯罪から子どもを守るための環境整備を推進

新規

県営公園の安全安心向上
1億9,850万円

- 園内の子ども広場などにおいて、防犯カメラを増設し、管理事務所からの遠隔監視により警戒を強化
- 権現堂公園など6公園に40台設置予定



今回ご紹介した事業以外にもお知りになりたい方はぜひお気軽に「こま」までお問い合わせ下さい

出前県政報告会も開催します。
電話:090-9323-0330
FAX:048-736-1568

いよいよ野田線の高架工事が始まります
これから連日多くの工事関係者もお越し頂く事になり地元経済の振興にも寄与しますね

春日部市内の事業についてはいかがでしょうか?

春日部駅の高架事業の工事がさらに進んで参ります

本年度はどこの進展しますか?

野田線高架工事の進捗状況

春日部駅高架化は順調に推移!

年度	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年
用地買収・借地交渉									
伊勢崎線 野田線									
伊勢崎線 野田線									
高架橋									
高架下整備									
用地買収									
工事									

引き続き、春日部駅高架化については、春日部市の発展に大きく寄与する最重要事業として捉え、物価高に伴う事業費の上昇に対し、東武鉄道、国、県、市と力強く連携して対応し、予算確保に全力を尽くすと共に、西口再開発などの賑わいを創るまちづくり事業に対しては高架化の完成と合わせるよう、邁進して参ります。

地図でわかる。春日部の未来の発展に繋がる 令和7年度埼玉県事業

古隅田川の河川改修
護岸改修工事、旧橋の撤去と掛け替え工事にて冠水の無い街に。

東埼玉道路(国事業)
・本年6月1日に吉川市川藤から松伏町田島まで開通。引き続き、古利根川橋工事、中川橋工事 春日部地区改良工事。
・事業効果を数値化する費用便益比4.9。
・庄和IC近辺では406億円経済効果。

次木杉戸線(宝珠花橋)
宝珠花橋 側道橋、塗装の塗り替え工事。

西金野井春日部線
新川橋の工事や、周辺に歩道整備など、牛島交差点付近の改良工事を推進。

古利根川の護岸改修
新たな川の再生として、匠大塚さん河川側に船着場の設置など、賑わいを創る、河川改修の推進。

会之堀川の改修
護岸工事で、治水強化。

松伏春日部関宿線
約200m舗装修繕。

赤沼・鏡子口産業団地
埼玉県企業局が、産業団地を造成。令和8年度以降、工事開始を目指す。

春日部駅周辺鉄道高架事業
本年度、伊勢崎線下り仮線切替工事、野田線仮線路盤工事を実施、

北春日部駅周辺地区土地地区画理事業への支援
埼玉版スーパーシティプロジェクトとして、新市街地創出を強力に支援。約1000戸の住宅と商業施設の建設を目指す。

令和10年に野田線高架を完成させ、早期の駅利便性向上を図る。

春日部駅西口再開発事業への支援
再エネ等の先端技術を積極的に取り入れ、今までに無い市街地を創出する再開発を支援。本年度の都市計画決定を目指し、駅と接続させ、賑わいのある回遊ゾーンを創る。

春日部夢の森公園の充実
公園南側と北側がスムーズに行き来が出来るよう、横断歩道を設置。南園に遊具を設置し、みどりに親しみ、森を通して人がつながる拠点となる公園に。

大塚大校線整備(アンダーパス)
今年度は、約2億円の予算にて、本格的な工事の為に仮囲いを設置。武里駅西口入口5交差点における、渋滞の解消と、踏切を除却し事故ゼロを目指す。

野田岩槻線(上野長吉線)
16号より順次工事を推進、本年度の開通を目指す。